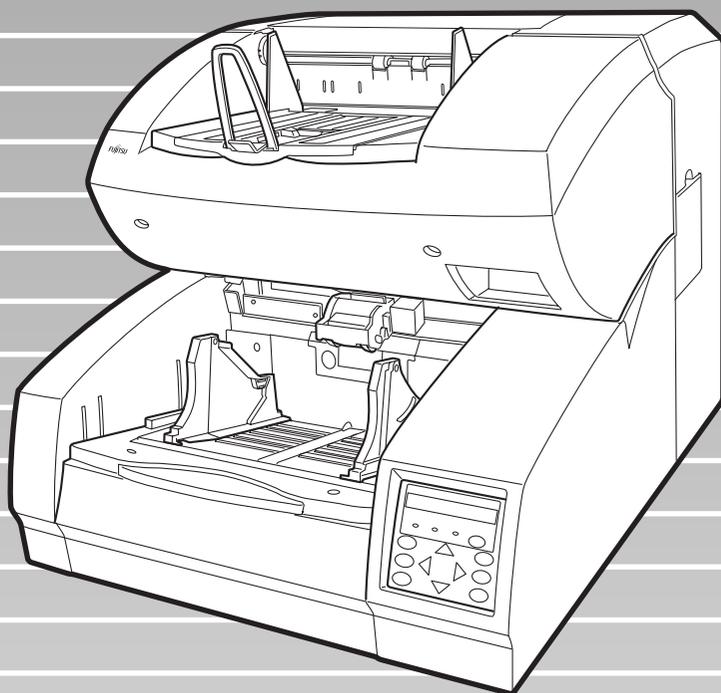


# fi-4990 イメージスキャナ

## オペレータガイド



# 安全にお使いいただくために

## 本取扱説明書について

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要な事柄が記載されています。本製品をご使用される前に、本書を熟読してください。特に、本書に記載されている『安全上のご注意』は、必ずお読みいただき、内容をよく理解されたうえで本製品をお使いいただくようにお願いします。

また、本書は、本製品の使用中にいつでもご覧になれるように、大切に保管してください。

## 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波自主規制協議会（VCCI）基準に基づくクラスB情報処理装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としておりますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。また、お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責を負いません。

## グリーン製品について



いつも地球を見守っている

本製品は、当社の厳しい環境評価基準（リサイクル、省エネ化、環境にやさしい素材の採用など）をクリアした地球にやさしい「グリーン製品」として提供しています。

詳細は富士通ホームページ「環境のコーナー」をご参照ください。

<http://eco.fujitsu.com/eco.html>

## 複製について

紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、公共団体や民間団体発行の免許証許可証、公文書、私文書などの複製は違法であり、処罰の対象となります。

## 著作権に関して

書籍、絵画、版画、地図、図面、および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用する用途以外は、権利者の許可なしに複製することはできません。

## 商標および登録商標について

Windows®およびWindows NT®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

ISIS®は、Pixel Translations, A Division of Actionpoint Inc.の登録商標です。

その他、本書中の商品名や製品名は、各社の登録商標または商標です。

本書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを複製することは著作権法上禁止されております。

本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

本装置の使用および本書に記載された内容に起因した損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責を負いません。

本装置の保証条件は、同梱の当社所定の保証書の規定をご覧ください。

本装置の修理部品の最低保有期間は、製造中止後5年間です。

落丁、乱丁本はお取り替えいたします。

All Rights Reserved, Copyright© 株式会社PFU 2001

## 警告 / 注意の表示について

本取扱説明書では、使用者および周囲の方の身体や財産に損害を与えないための警告表示をしています。警告表示は、警告レベルの記号と警告文から構成しています。以下に、警告レベルの記号を示し、その意味を説明します。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

## その他の表示マークについて

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の記号と同時に次の記号を使用しています。



三角で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表す絵が描かれています。



丸に斜線で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。



白抜きで示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。

本書では、説明する内容により、以下の記号を使用しています。



本装置を使う際の使い方のヒント、便利な機能、参考にしていただきたい内容について説明しています。必要に応じてお読みください。

# はじめに

このたびは、fi-4990イメージスキャナ装置をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

本スキャナの機能を十分発揮させるために、本書に従って正しくご使用ください。本マニュアルは、fi-4990イメージスキャナの使い方について説明しています。本スキャナにはオプションとしてエンドーサがありますが、本文中に使われているスキャナのイラストには、5章の外形寸法のものを除き、エンドーサは付いていません。

本マニュアルは、「構成部品」、「設置のしかたと接続のしかた」、「操作のしかた」、「原稿の指定」、「仕様」、「セットアップモード、表示モードおよびテストモード」の各章から構成されています。

fi-4990の日常の操作については、「イメージスキャナ ご使用のしおり」を参照してください。

「イメージスキャナ ご使用のしおり」には、「操作のしかた」、「清掃のしかた」、「部品の交換」、「異常時の処置」があります。

fi-4990は非常に高速、多機能のイメージスキャナで、CCD（電荷結合デバイス）イメージセンサを採用して、大容量のファイリングを可能にしました。本装置は両面読取、高品質な画像を自動給紙（ADF）で処理することができます。

版数	発行日	改訂内容
01	2000年 8 月	初版
02	2000年10 月	原稿の指定を追加
03	2001年 8 月	ハイセイフティ用途に関する記述追加
04	2001年 9 月	マニュアルコード変更
マニュアルコード: P3PC-E532-04		

# 安全上のご注意

## 警告事項一覧



本マニュアル中に記載されている重要な警告事項は以下のとおりです。

### 設置時



分解禁止

#### 火災・感電

装置を分解したり、改造したりしないでください。内部に高電圧部分があります。



感電注意

#### 感電

オプション機器の取付けや取外しを行う場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに、手順に従って行ってください。



#### 設置・移転

スキャナのどの部分も机から突き出さないように置いてください。装置を動かしたり移転するときは、決して一人で行わないでください。また、装置は底部を水平にしてください。

### 接続時



#### 火災・感電

本装置はアース接続を必要としています。電源ケーブルは必ず3ピンのコンセントに接続してください。アース接続ができない場合は、販売会社(または保守サービスセンタ)にご相談ください。



#### 火災・感電

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、たこ足配線をしないでください。



#### 感電

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。



#### 火災

電源プラグの金属部、および金属部の取付け面にホコリが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。



一般的禁止

#### 火災・感電

重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりして電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。



一般的禁止

#### 火災・感電

電源ケーブルや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

### 操作時



#### 火災・感電

万一、機器から発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに機器本体の電源スイッチを切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

煙が消えるのを確認して、販売会社(または保守サービスセンター)にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。



一般的禁止

火災・感電

開口部(通風口など)から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。



一般的禁止

火災・感電

機器を落としたり、カバーなどを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売会社(または保守サービスセンター)にご連絡ください。

## 注意事項一覧



本マニュアル中に記載されている注意事項は以下のとおりです。

### 設置時



一般的禁止

転倒・落下

装置を不安定な場所に置かないでください。振動の少ない、装置が傾かないような平らな場所に置いてください。



一般的禁止

火災・感電

直射日光の当たる所や暖房機の近く、湿気、ホコリの多い所には置かないでください。また、通気性、換気性の良い場所で使用してください。



一般的禁止

#### 火災

装置の内部が高温になるため、通気口をふさがないでください。



一般的禁止

#### 転倒・落下

装置の上に重いものを置いたり、装置の上で作業したりしないでください。



#### 火災・感電・転倒・落下

機器を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。



一般的禁止

#### 誤動作

強い磁界やノイズ発生源から離して設置してください。また、静電気を避けてください。静電気を発生させますと、誤動作の原因になります。床材や設置する机には静電気を発生させない材質のものを選んでください。

### 接続時



#### 火災・故障

電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。



一般的禁止

#### 火災・感電

電源ケーブルをコンセントから抜くときは、プラグ部分を持ってコンセントから抜いてください。



感電注意

#### 火災

複写機やシュレツダのような消費電力の大きい機器と同じコンセントから、電源をとらないでください。

## 操作時



一般的禁止

### 火災・故障

コーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が装置内部に入らないように気をつけてください。



一般的禁止

### 火災・感電

本体に水をかけたり、濡らしたりしないでください。



一般的禁止

### 火災・感電

異物（水、金属片、液体など）が機器の内部に入った場合は、ただちに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売会社（または保守サービスセンター）にご連絡ください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



回転物注意

### 巻き込み

歯車やローラなどの可動部に衣服の袖やネクタイ、髪を巻き込まれないようにしてください。



### 火災・感電

長期間機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



### 破損

近くで雷が発生したときは、電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。入れたままにしておくと、機器が破損することがあります。

# 目次

<b>第1章 構成部品</b>	
構成部品のチェック .....	1-1
ユニットと取り外し可能部品 .....	1-2
操作パネル .....	1-5
ブザー .....	1-8
<b>第2章 設置のしかたと接続のしかた</b>	
事前のご注意 .....	2-1
検査 .....	2-4
ケーブルの接続 .....	2-6
<b>第3章 操作のしかた</b>	
事前のご注意 .....	3-1
電源の投入のしかた .....	3-3
操作パネルの基本操作 .....	3-4
<b>第4章 原稿の指定</b>	
原稿のサイズ .....	4-1
原稿の紙質 .....	4-2
原稿の制限 .....	4-5
地色領域 .....	4-7
ドロップアウトカラー .....	4-8
特殊用紙 .....	4-9
<b>第5章 仕様</b>	
設置仕様 .....	5-1
外形寸法 .....	5-2
消耗品 .....	5-3
オプション .....	5-4
<b>第6章 セットアップモード、ブラウズモードおよびテストモード</b>	
セットアップモード、ブラウズモードおよびテストモード .....	6-1
セットアップモードまたはブラウズモードの起動 .....	6-2
セットアップモードまたはブラウズモードの内容 .....	6-4
テストモードの起動 .....	6-54
テストモードの内容 .....	6-56
<b>索引</b> .....	IN-1
<b>修理・問合せについて</b>	

## 1 構成部品

構成部品

## 2 設置のしかたと接続のしかた

設置のしかたと  
接続のしかた

## 3 操作のしかた

操作のしかた

## 4 原稿の指定

原稿の指定

## 5 仕様

仕様

## 6 セットアップモード、ブラウズモードおよびテストモード

セットアップモード  
ブラウズモード  
およびテストモード

## 索引

索引

# 1

## 構成部品

---

スキャナを開梱したら、すべての構成部品が入っているかを確認します。この章では、スキャナの構成部品、部品名、操作パネルの配列と機能について説明します。

構成部品のチェック

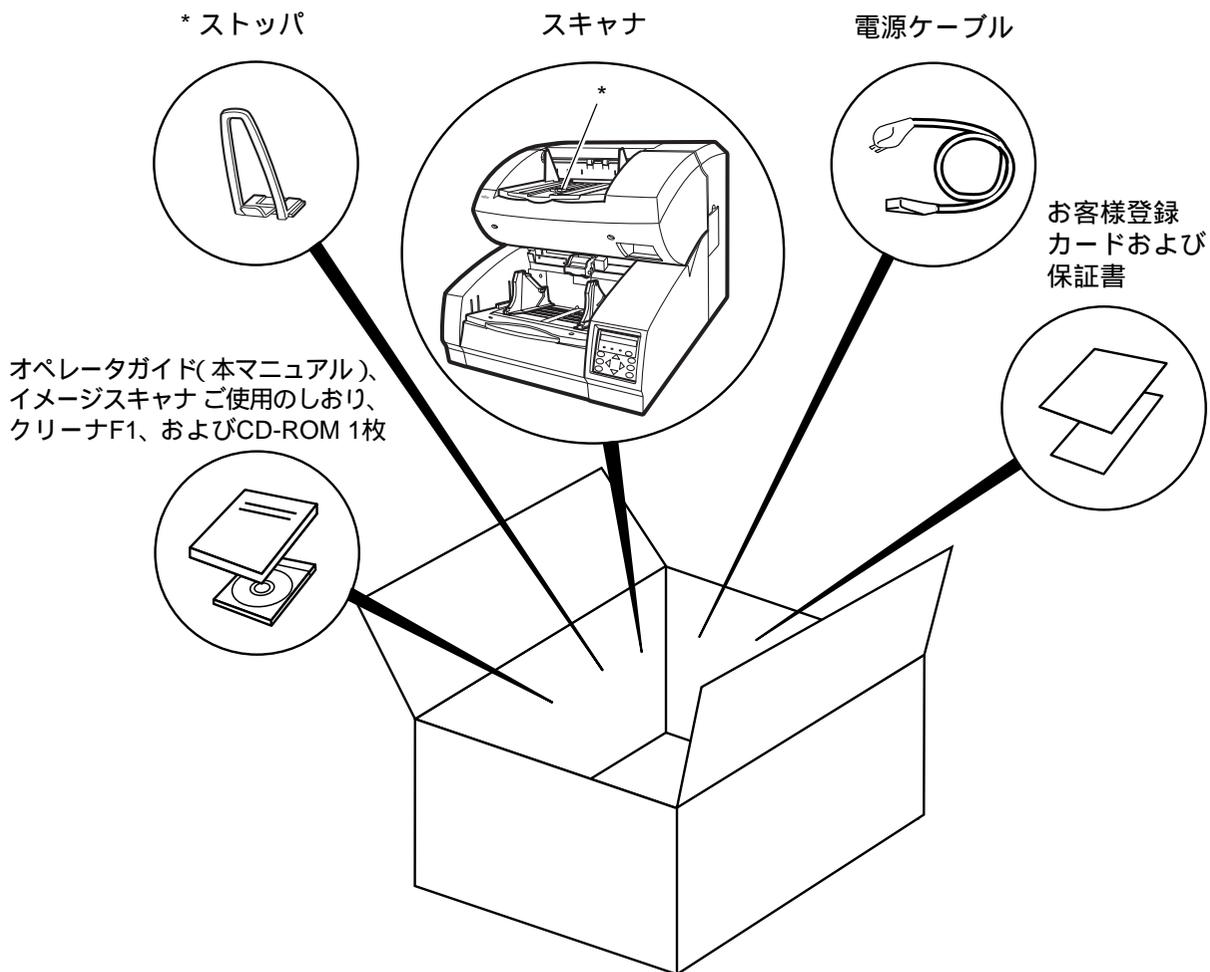
ユニットと取外し可能部品

操作パネル

ブザー

# 構成部品のチェック

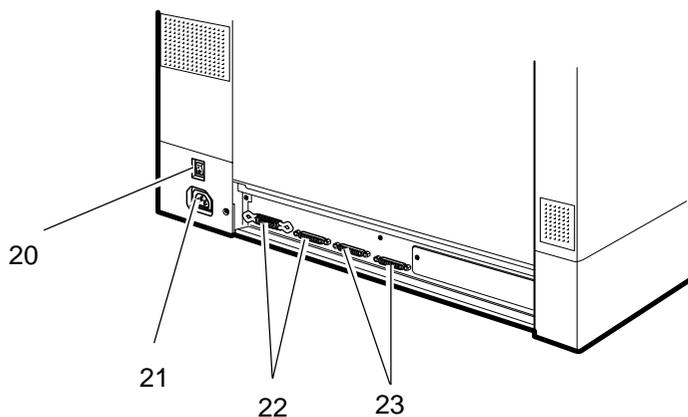
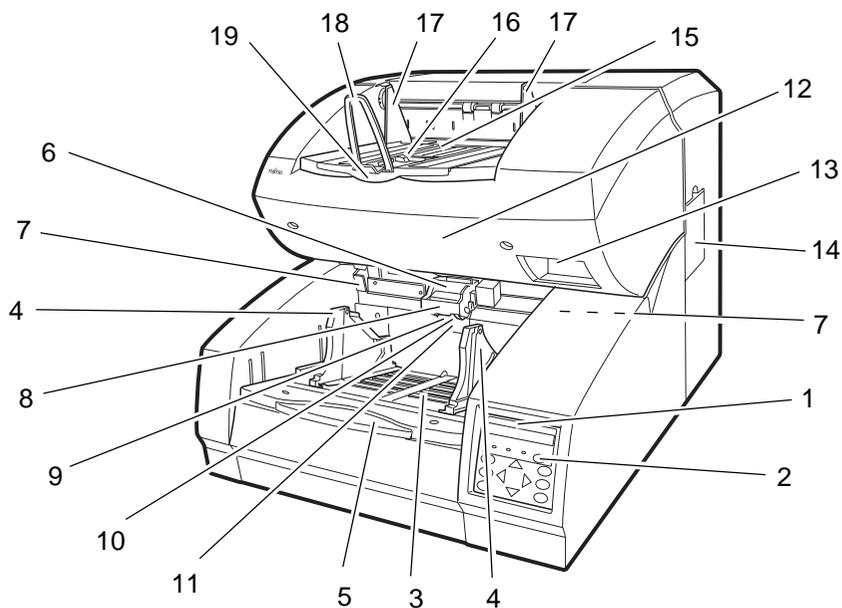
本装置の構成部品は高精度であるため、充分注意して扱ってください。  
以下の図に示すすべての構成部品があることを確認します。スキャナのスタッカ上にストッパを取り付けます。  
見付からない構成部品があれば、販売代理店にご連絡ください。



# ユニットと取り外し可能部品

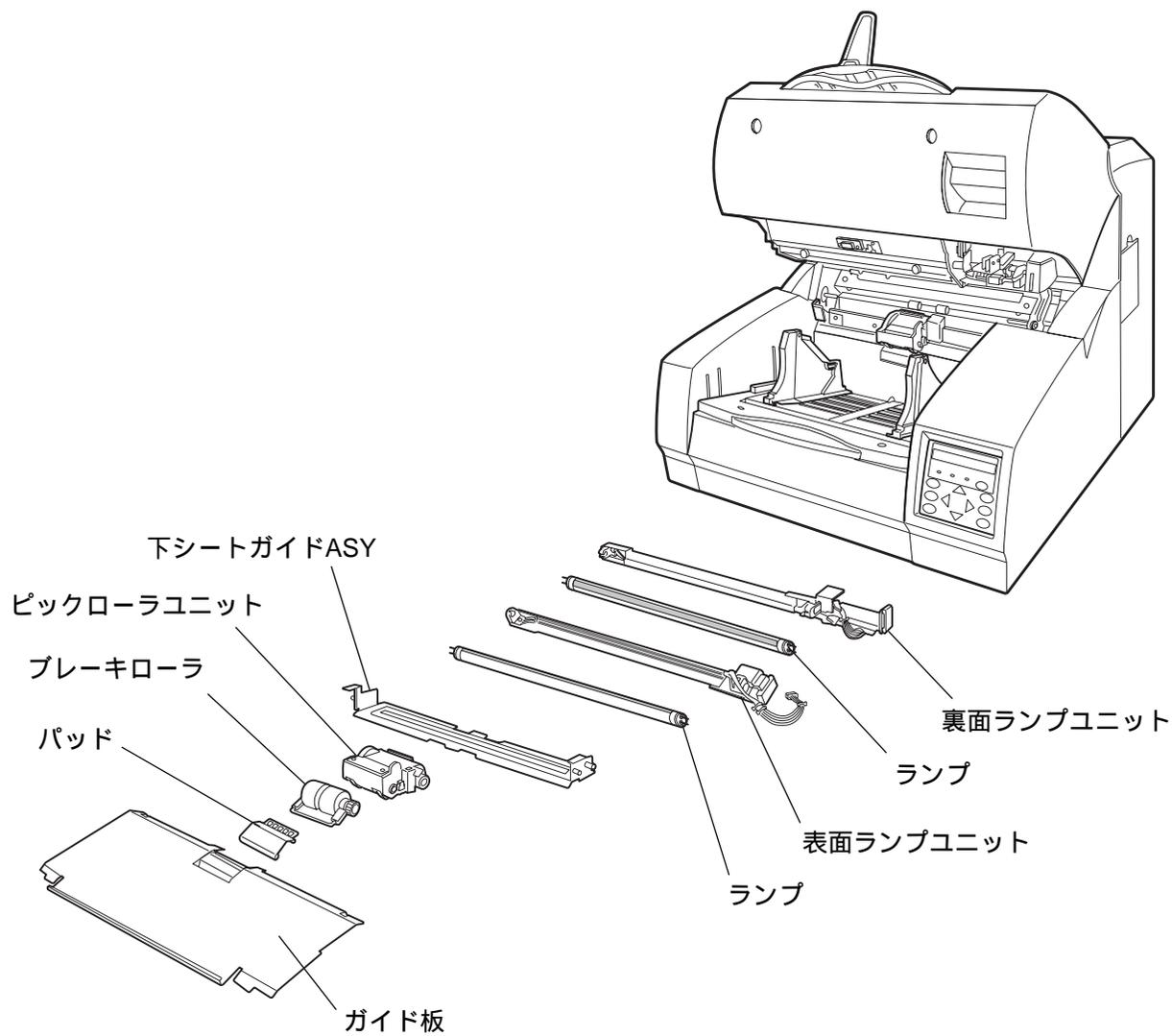
この節では、スキャナの外面図と組立品を示します。各部品の名前とそれらの機能についても説明します。

## ■ ユニット



No.	名 称	機 能
1	操作パネル	スキャナを操作するために使用します。
2	電源スイッチ	電源を投入/切断するために使用します。
3	ホッパ	原稿給紙カセット。
4	ホッパガイド	原稿の幅を調節するために使用します。
5	ホッパエクステンション	長い原稿用に使用します。
6	ADF (オートマティックドキュメントフィーダ)	原稿を自動的に繰り込みます。
7	ADFレバー	ADFを開くために使用します。
8	ピックローラユニット	ホッパから1番上の原稿を繰り込みます。
9	ガイド板	パッドを取り付ける板です。
10	パッド	ホッパから1番上の原稿を分離します。
11	プレーキローラ	ホッパから1番上の原稿を分離します。
12	上搬送ユニット	開けると作業が容易にできます。
13	レバー	上搬送ユニットを開けるために使用します。
14	サイドカバー	開けて裏面ランプを扱います。
15	スタッカ	原稿排出トレイ。
16	小ストッパ	スタッカに排出される短い原稿の長さ方向の整理をします。
17	スタッカガイド	スタッカに排出される原稿幅の整理をします。
18	ストッパ	スタッカに排出される原稿の長さ方向の整理をします。
19	スタッカエクステンション	長い原稿用に使用します。
20	電源主スイッチ	スキャナに電力を供給します。
21	インレット	電源ケーブル接続。
22	インタフェースコネクタ	ビデオインタフェースおよびRS-232Cインタフェース。
23	インタフェースコネクタ	SCSIインタフェース(二つ)。

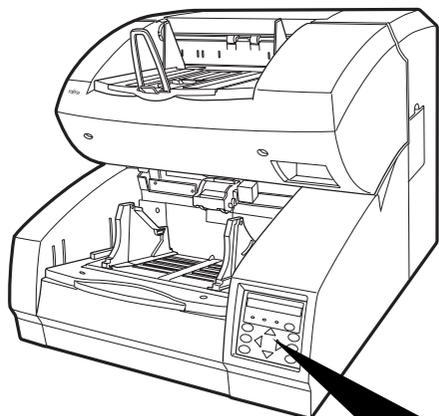
## ■ 取り外し可能部品



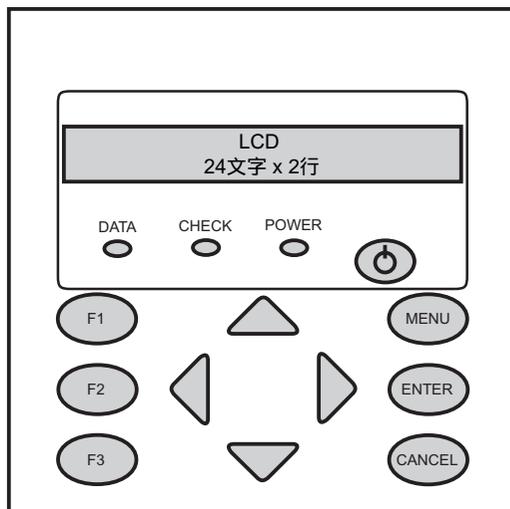
# 操作パネル

操作パネルは、スキャナの下部右側にあります。このパネルは、LCD（24文字×2行）、LED、ボタンから構成されています。

## ■ 配列



操作パネル



## ■ ボタン/LEDの機能

ボタン名	機 能
	電源主スイッチが「I」にセットされているときに電源を投入/切断します。
	スキャナをセットアップモードまたはブラウズモードにセットします（第6章を参照）。 セットアップモードは、スキャナをカスタマイズするために使用します。ブラウズモードは、スキャナの状態を表示するために使用します。テストモードは、スキャナをオフラインでテストするために使用します。
	セットアップモード、ブラウズモードまたはテストモードで使用します。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>エラーがあれば、クリアします。</li> <li>ビデオインタフェースの使用時に現在の読み取りを停止します。</li> <li>セットアップモード、ブラウズモードまたはテストモードで使用します。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノーマルモードでエラーなしのときホoppaを持ち上ます。</li> <li>セットアップモード、ブラウズモードまたはテストモードで使用します。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノーマルモードでエラーなしのときホoppaを下ろします。</li> <li>セットアップモード、ブラウズモードまたはテストモードで使用します。</li> </ul>
	セットアップモード、ブラウズモードまたはテストモードで使用します。
	セットアップモード、ブラウズモードまたはテストモードで使用します。
  	セットアップモードで機能の定義時に、ショートカットとして使用します。

LED	機 能
	電源が投入されているときに点灯します。
	イメージバッファにデータがあるときに点灯します。
	装置エラーが発生すると点滅します。

## ■ LCD表示

LCD	機 能
	装置のステータスまたはエラー内容を表示します。

## 操作ステータス表示

電源を投入すると、LCDはノーマルモードで以下のメッセージを表示します。

シバラクオマチクダサイ

しばらくお待ちください。これは処理に時間がかかるときに表示されます。  
電源を投入した後にこれが表示された場合には、2行目は初期化メッセージが表示されます。

ドウサカノウ

スキャナがホストコンピュータからのコマンドを受信でき、セットアップモードまたは表示モードに入ることができます。

テソウニユウ

原稿を手動でホップテーブルにセットします。

ヨミトリチュウ

原稿がスキャナに搬送されています。2行目には一連の原稿のうち、すでに搬送された枚数が表示されます。

データソウシンチュウ

スキャナがデータをホストコンピュータに送信しています。

## エラーステータス表示

スキャナがエラーを検出すると、LCDは以下のメッセージを表示します。エラーには、一時エラーと装置エラーの2つのタイプがあります。

一時エラー:

以下のメッセージの指示に従えば、メッセージはクリアされます。

ホッパエンプティ

ピックミス

カバーオープン

装置エラー:

メッセージをクリアするためには、指定された部品を清掃するか、交換する必要があります。

コウガクケイジョウ(オモテ)

# ブザー

スキャナには、エラーが発生したこと、または操作パネルボタンが押されたことを知らせるブザーが付いています。第6章「セットアップモード、ブラウズモードおよびテストモード」の「ブザー」の手順に従えば、ブザー機能の設定をオン/オフにすることができます。

サウンド条件	機能
エラー発生	連続して音がします。どれかのボタンを押すか、電源を切断すると、ブザーが鳴り止みます。ボタンを押しても、スキャナはエラー表示を続けます。
ボタン押し下げ	短く音が鳴ります。この音はブザーセットアップで無効にすることはできません。

# 2

## 設置のしかたと接続のしかた

---

この章では、スキャナの設置のしかたと接続のしかたについて説明します。

事前のご注意

検査

ケーブルの接続

# 事前のご注意

この節では、スキャナを設置したり接続したりするときの安全上の注意事項について説明します。

## ■ 設置時の注意

スキャナを以下の場所や環境に設置しないでください。

設置場所のスペースなどについては、第5章「仕様」を参照してください。



分解禁止

火災・感電

装置を分解したり、改造したりしないでください。内部に高電圧部分があります。



感電注意

感電

オプション機器の取付けや取外しを行う場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに、手順に従って行ってください。



設置・移転

スキャナのどの部分も机から突き出さないように置いてください。装置を動かしたり移転するときは、決して一人で行わないでください。また、装置は底部を水平にしてください。



一般的禁止

転倒・落下

装置を不安定な場所に置かないでください。振動の少ない、装置が傾かないような平らな場所に置いてください。



一般的禁止

火災・感電

直射日光の当たる所や暖房機の近く、湿気、ホコリの多い所には置かないでください。また、通気性、換気性の良い場所で使用してください。



一般的禁止

火災

装置の内部が高温になるため、通気口をふさがないでください。



一般的禁止

転倒・落下

装置の上に重いものを置いたり、装置の上で作業したりしないでください。



火災・感電・転倒・落下

機器を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。



一般的禁止

誤動作

強い磁界やノイズ発生源から離して設置してください。また、静電気を避けてください。静電気を発生させますと、誤動作の原因になります。床材や設置する机には静電気を発生させない材質のものを選んでください。

## ■ 接続時の注意



火災・感電

本装置はアース接続を必要としています。電源ケーブルは必ず3ピンのコンセントに接続してください。アース接続ができない場合は、販売会社（または保守サービスセンター）にご相談ください。



感電注意

火災・感電

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、たこ足配線をしないでください。



感電注意

感電

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。



火災

電源プラグの金属部、および金属部の取付け面にホコリが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。



一般的禁止

火災・感電

重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりして電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。



一般的禁止

火災・感電

電源ケーブルや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。



注意



火災・故障

電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。



一般的禁止

火災・感電

電源ケーブルをコンセントから抜くときは、プラグ部分を持ってコンセントから抜いてください。



感電注意

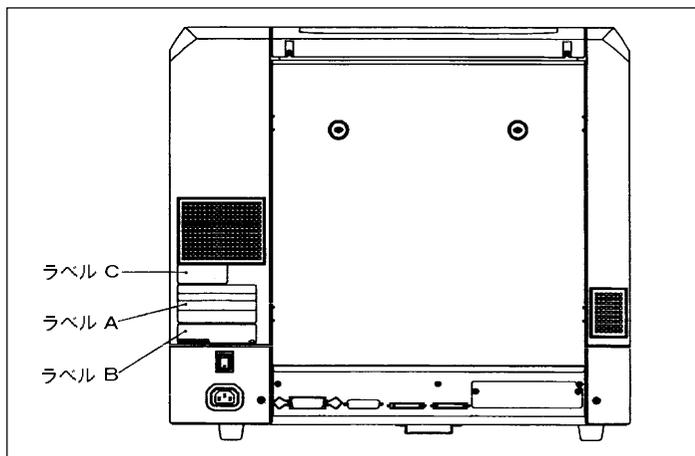
火災

複写機やシュレツダのような消費電力の大きい機器と同じコンセントから、電源をとらないでください。

# 検査

この節では、ラベルのチェックのしかたについて説明します。

## 3つのラベルの位置



## ラベルA (例)

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。			
VCCI-A			
This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received including interference that may cause undesired operation.			
 LR53350 <small>MTL/C</small>			
電源を接続する前に必ず設置説明書をご覧ください。 See installation instructions before connecting to the supply. Voir la notice d'installation avant de raccorder au réseau. Bitte lesen sie die Bedienungs-Anleitung bevor sie das Gerät in Betrieb setzen.			

ラベルB (例)

MODEL	fi-4990	IMAGE SCANNER
PART NO.	CA04315-B006	AC100-240V
SER. NO.		1 phase 50/60Hz
DATE	1999-10	2.9/1.5A 65 kgf
<b>PFU Limited</b>		MADE IN JAPAN 

ラベルC (例)

MODEL NAME	fi-4990
PART NO.	CA04315-B006
MODEL	- 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
REV.	- 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	- 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

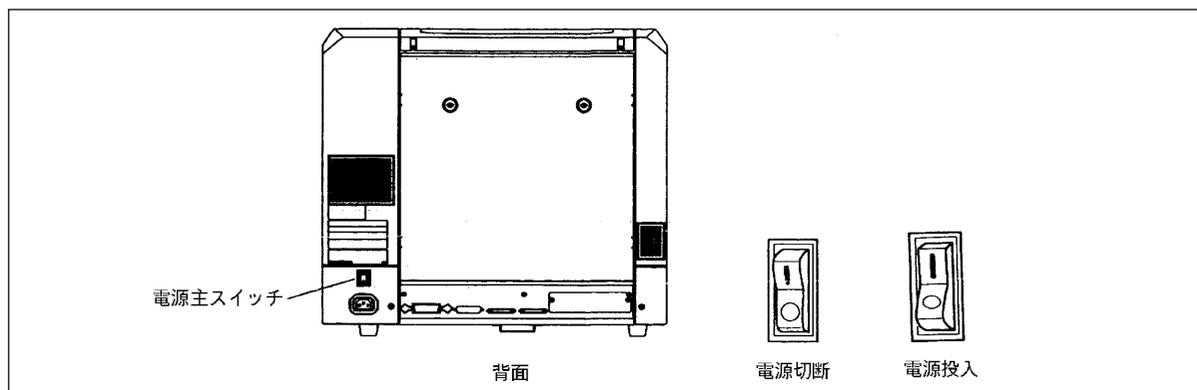
# ケーブルの接続

この節では、ケーブルの接続のしかたについて説明します。

ケーブルは以下のように接続します。

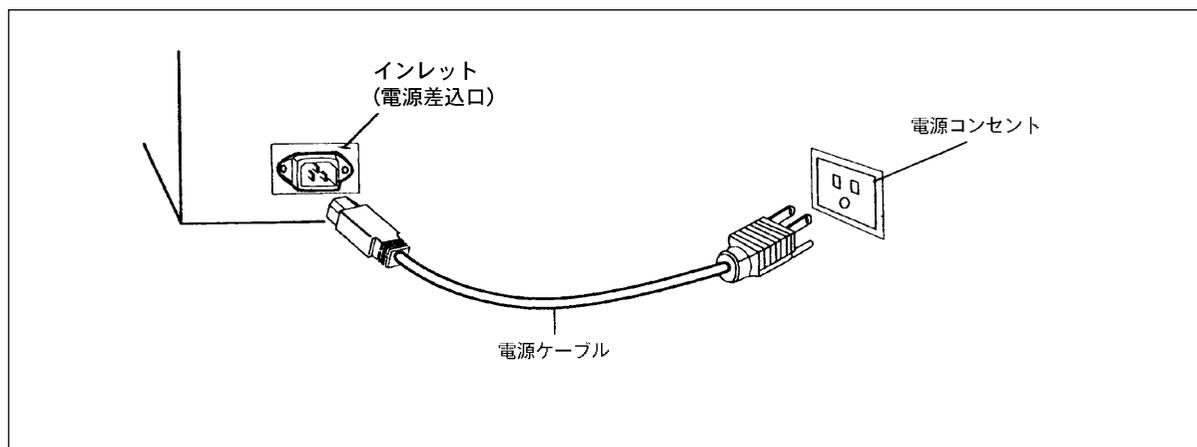
## ■ 電源主スイッチを切ります

電源主スイッチの「O」側を押して、電源を切断します。



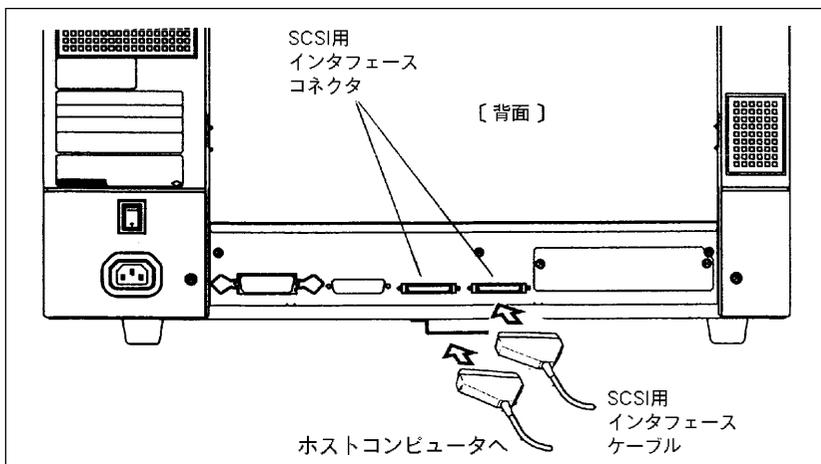
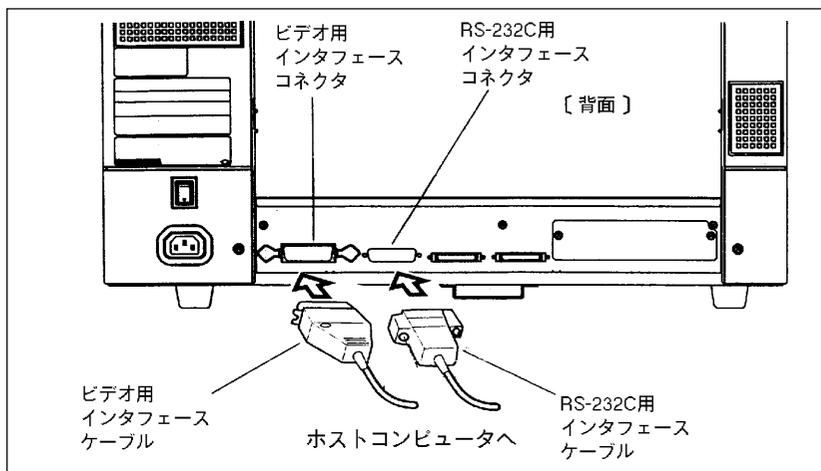
## ■ 電源ケーブルを接続します

電源ケーブルを装置のインレット（電源差込口）と電源コンセントに接続します。



## ■ インタフェースケーブルを接続します

ビデオインタフェースケーブル、RS-232CインタフェースケーブルまたはSCSIインタフェースケーブルを接続し、フックやネジで固定します。他端をホストコンピュータに接続します。



### 注

- SCSI-IDは出荷時にNo.5にセットされています。この設定を変更するには、第6章を参照してください。
- 自動切替え機能を装備しています。オープンコネクタにはSCSI終端抵抗は不要です。



# 3

## 操作のしかた

---

この章では、電源の投入のしかたと操作パネルの操作のしかた（基本操作）について説明します。原稿の挿入および上搬送ユニットの開けかた/閉めかたについては、ご使用のしおりを参照してください。

事前のご注意

電源の投入のしかた

操作パネルの基本操作

# 事前のご注意

この節では、装置を操作するときの安全上の注意事項について説明します。

スキャナを操作するときには以下のことがらに注意してください。



火災・感電

万一、機器から発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに機器本体の電源スイッチを切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

煙が消えるのを確認して、販売会社（または保守サービスセンタ）にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。



一般的禁止

火災・感電

開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。



一般的禁止

火災・感電

機器を落としたり、カバーなどを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売会社（または保守サービスセンタ）にご連絡ください。



一般的禁止

火災・故障

コーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が装置内部に入らないように気をつけてください。



一般的禁止

火災・感電

本体に水をかけたり、濡らしたりしないでください。



一般的禁止

火災・感電

異物（水、金属片、液体など）が機器の内部に入った場合は、ただちに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売会社（または保守サービスセンター）にご連絡ください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



回転物注意

巻込み

歯車やローラなどの可動部に衣服の袖やネクタイ、髪を巻き込まれないようにしてください。



火災・感電

長期間機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



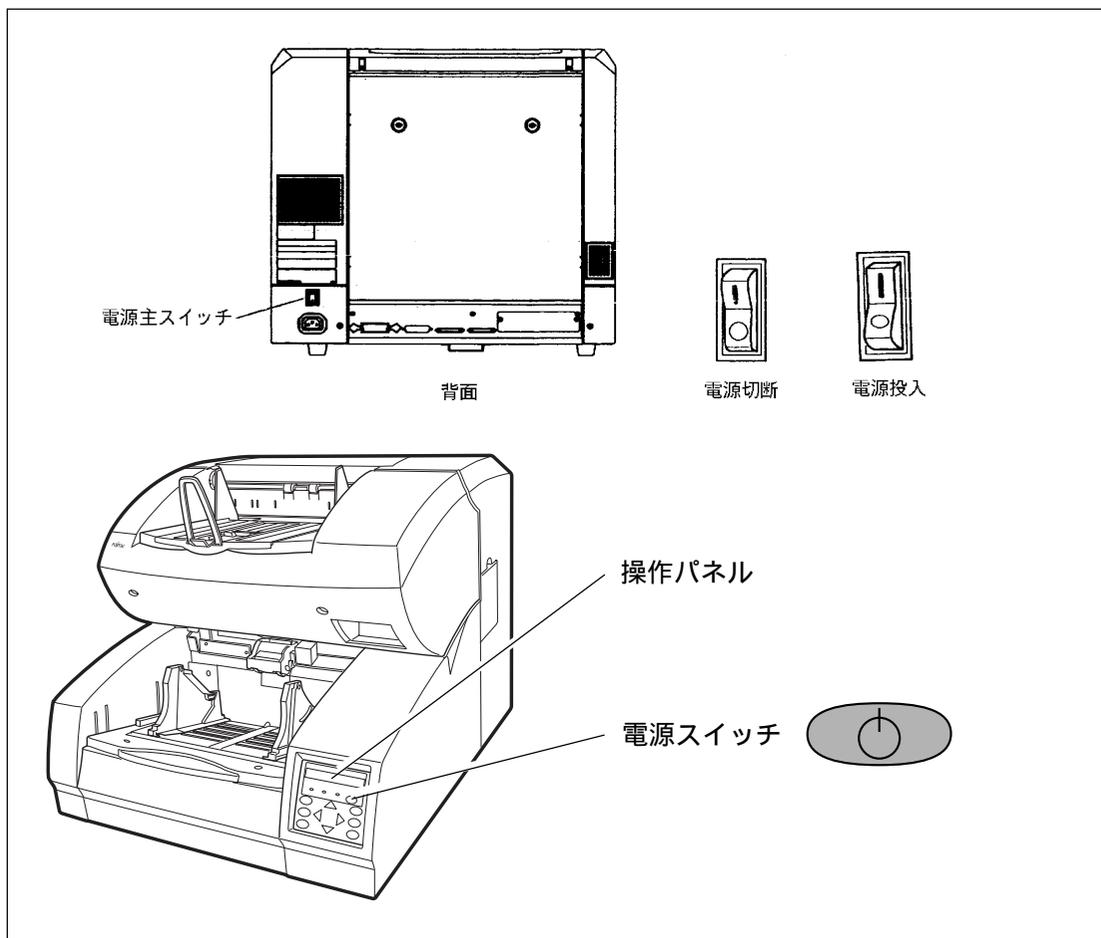
破損

近くで雷が発生したときは、電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。入れたままにしておくと、機器が破損することがあります。

# 電源の投入のしかた

この節では、電源の投入のしかたについて説明します。

スキヤナの背面にある電源主スイッチの「I」側を押します。操作パネルの電源スイッチを押します。電源が投入され、操作パネルの緑色の電源ランプが点灯します。



# 操作パネルの基本操作

---

この節では、操作パネルの基本操作について説明します。この基本操作の中には、セットアップモード、ブラウズモードおよびテストモードを使用できるモード選択への入りかたも含まれています。

## ■ エラーが発生した場合の詳細情報の表示

エラーが発生すると、「CHECK」LEDが点滅し、LCD上にエラーメッセージが表示されます。たとえば、LCDに以下のように表示されます。

カバーオープン

**CANCEL** を押してエラーをクリアします（エラーによってはクリアできません）。

---

## ■ ホッパの上げ下げ

スキャナにエラーがない（「CHECK」LEDが点灯していない）場合、▲を押すとホッパが上がり、▼を押すとホッパが下がります。

### ⚠ 警告

ホッパの高低を調節する際、ホッパテーブルに触ったりホッパテーブルに物を置いて、指をはさまれないようにしてください。この機構の中にもものはさみ込まれると、スキャナが損傷することがあります。

ドウサカノウ

と表示されていれば、この機能は有効です。

詳細は以下のとおりです。

- ・ 「データ」LEDが点灯していない（スキャナにデータが入っていない）
- ・ 読取操作が処理中でない
- ・ スキャナがテストモードでない（連続搬送テストを除く）
- ・ スキャナがセットアップモードまたはブラウズモードでない

ホッパは、ピック位置、あるいはセットアップモードでのホッパ高低調節に応じて250枚、500枚、1000枚の用紙位置で停止します。ピック位置では、スタック（用紙がホッパに挿入されていなければ、ホッパテーブル）の一番上の用紙がピックローラに位置合せされます。たとえば、250枚の用紙位置では、ホッパテーブルには約250枚の用紙をセットできます。

▲または▼を押すたびに、ホッパは位置が1ステップ分だけ上がり下がりします。給紙時に▲を押すと、ホッパはピック位置にまで上がります。

## ■ 消耗品アラームのクリア

本スキャナには、消耗部品の寿命を見積もる消耗品カウンタがあります。本カウンタが規定値になると、LCDに消耗部品の寿命が尽きたことを知らせるアラームが表示されます。たとえば、以下のようなメッセージが表示されます。

ショウモウヒンチェック

この場合、**CANCEL**を押します。LCDに以下のメッセージが表示されます。

ショウモウヒンライフ サイド ケイソクシマス  
Yes:Enter No:Cancel

ハイ (**ENTER**を押す)：スキャナは、消耗品カウンタをゼロにリセットします。

イエエ (**CANCEL**を押す)：スキャナは、消耗品カウンタをリセットしません。この場合、次に用紙を給紙すると消耗部品の寿命を知らせるアラームが再度表示されます。

## ■ スキャナで処理される用紙枚数の確認

LCDには、オンラインまたはテストモード（連続搬送テスト）で読み取られる用紙枚数が表示されます。LCDには、以下のように枚数表示されます。

ヨミトリチュウ  
AAAAAAAA MMMM

値	内 容	説 明
AAAAAAAA	累計カウンタ	8桁の数字は、このスキャナに給紙した累計枚数を示します。
MMMM	バッチカウンタ	1ホッパ毎の給紙した枚数を示します。

## ■ ファンクションボタン（F1、F2、F3）の使用

本スキャナには、手間のかかるセットアップ機能を1つのボタンに登録できるファンクションボタン（**F1**、**F2**、**F3**）があります。特定のセットアップ機能を頻繁に使用する場合、ショートカットキーとしてこれらのボタンを使用すると便利です。詳細については、第6章を参照してください。

セットアップ機能を割り当てることにより、ファンクションボタンを使用することができます。この割り当ては、セットアップモードで実行することができます。割り当てを設定すると、ファンクションボタンを押すだけで割り当て機能を簡単に呼び出すことができます。割り当て可能なセットアップ機能については、第6章を参照してください。

ドウサカノウ

と表示されていれば、このファンクションボタンは有効です。

詳細は以下のとおりです。

- ・ 「DATA」LEDが点灯していない（スキャナにデータが入っていない）
- ・ 読取操作が処理中でない
- ・ スキャナがテストモードでない
- ・ スキャナがセットアップモードまたはブラウズモードでない

セットアップモードがロック状態でもファンクションボタンは使用可能です。

---

## ■ セットアップモード、ブラウズモードおよびテストモードの使用

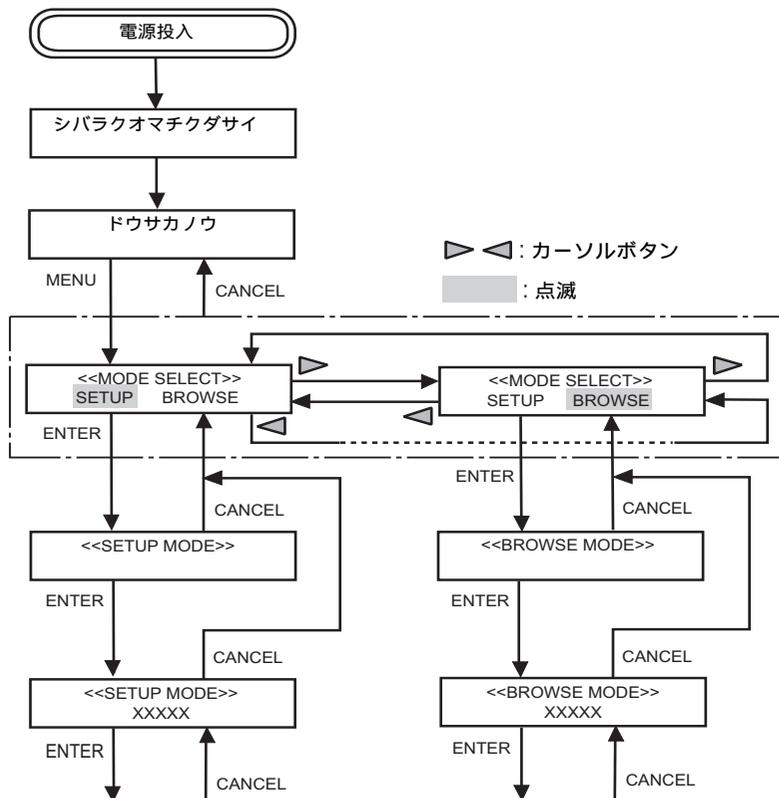
本スキャナには、カスタマイズ操作を行うセットアップモード、セットアップ状態の表示をするブラウズモード、およびオフラインでのテスト操作を行うテストモードがあります。

これらのモードに入るには、以下の2つの方法があります。

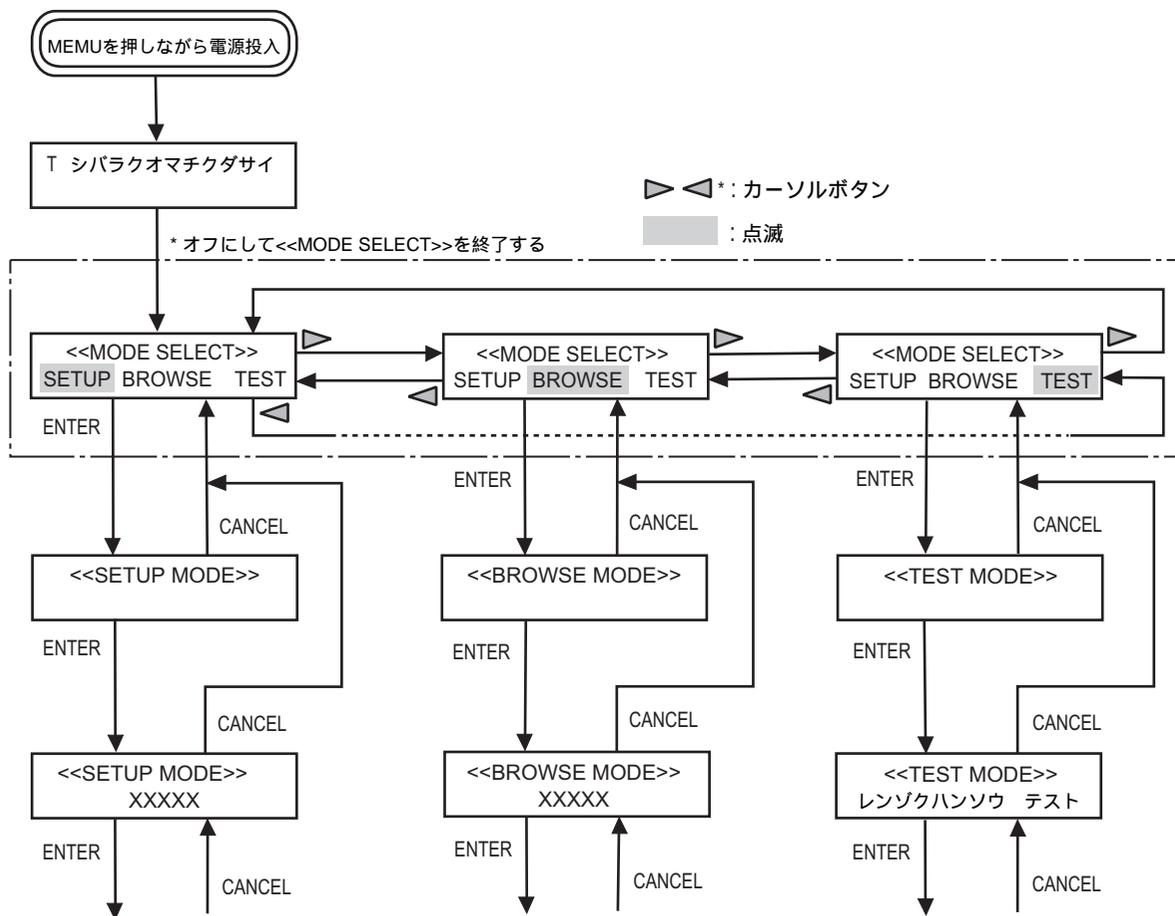
- ・ LCDに「ドウサカノウ」と表示されているときに **MENU** を押します。 [この場合、テストモードは使用できない。]
- ・ **MENU** を押しながら、電源を投入します。

使用可能な機能は、この2つの方法では異なっています。詳細については、第6章を参照してください。

以下の方法で、セットアップモードとブラウズモードを使用することができます。

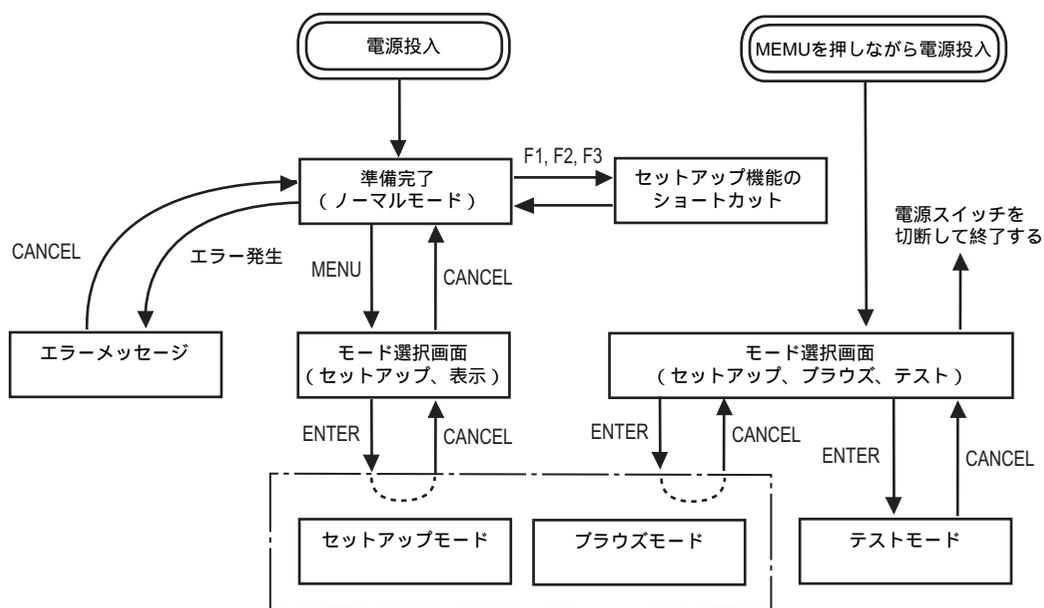


以下の方法で、セットアップモードとブラウズモードに加えてテストモードを使用することができます。これらのモードを終了するには、電源をオフにしてください。



## ■ 操作パネルのステータスと表示の遷移

以下に、操作パネルのステータスと表示の遷移の概要を示します。





# 4

## 原稿の指定

---

この章では、スキャナの前稿のサイズと前稿の紙質について説明します。

原稿のサイズ

原稿の紙質

原稿の制限

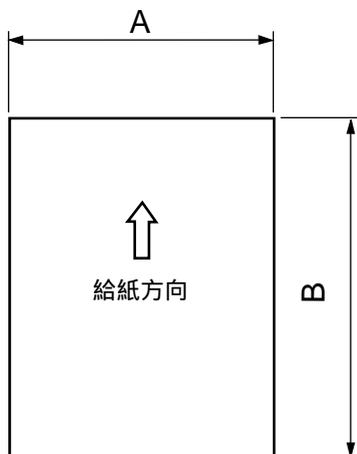
地色領域

ドロップアウトカラー

特殊用紙

# 原稿のサイズ

以下の図に、本スキャナが読み取ることができる原稿のサイズを示します。



スキャナ	最 大		最 小
	A	B	
fi-4990	297 (11.7 インチ)	432 (17 インチ)	A7サイズ: 74( 2.9インチ )×105( 4.1インチ ) 縦方向と横方向のどちらでも読 取可能

( 単位: mm )

# 原稿の紙質

この節では、本スキャナに使用できる原稿の種類と連量、および事前の注意について説明します。

## ■ 原稿の種類

原稿として推奨される用紙の種類は以下のとおりです。



下記指定用紙の使用をお願いします。(ダブルフィードが発生したり、原稿が損傷することがあります)。

- ・ 上質紙
- ・ 普通紙 (例、XEROX4024用の指定用紙)
- ・ OCR用紙

ほかの種類 of 用紙を使用するときには、予めADFでの搬送テストを行った上でご使用ください。



エラー発生の際原稿に損傷を受けることがありますので、重要なオリジナル原稿を給紙しないようにしてください。

## ■ 原稿の連量

連量は以下のとおりです。

- ・ 45 ~ 110 kg (四六判連量)



四六判連量とは、788 mm × 1091 mm (四六判) の用紙 1000 枚の重量です。

## ■ 事前の注意

以下の原稿を読み取らないように注意してください。予期せぬエラーを防ぐためには、あらかじめ連続搬送テストが必要な場合もあります。原稿が滑ってADFに入っていかなかったり（ペーパージャムエラー）、ダブルフィードが頻繁に発生したりする場合、6-18ページの「原稿分離力調整」を参照してください。

- ・クリップやステーブルなどが付いた用紙
- ・インクが乾いていない用紙
- ・紙厚が一定していない用紙（封筒など）
- ・しわがよっていたり、カールしている用紙（次ページの注意を参照）
- ・折れたり、破れたりしている用紙
- ・トレーシングペーパー
- ・コート紙
- ・カーボン紙
- ・ノンカーボン紙
- ・A7サイズより小さいか、A3サイズより大きい用紙
- ・紙以外のもの（布、金属箔、OHPフィルムなど）
- ・印画紙などの写真原稿
- ・端に切り込みのある用紙
- ・四角形でないもの

透明度の高い原稿を読み取る場合には、密度をライトモードにセットしてください。

ローラが汚れないようにするために、鉛筆で塗りつぶした原稿の読み取りは避けてください。たくさん  
の原稿を読み取る場合は、できる限り頻繁にローラを清掃してください。用紙1000枚毎に1回清掃  
することが推奨されます。

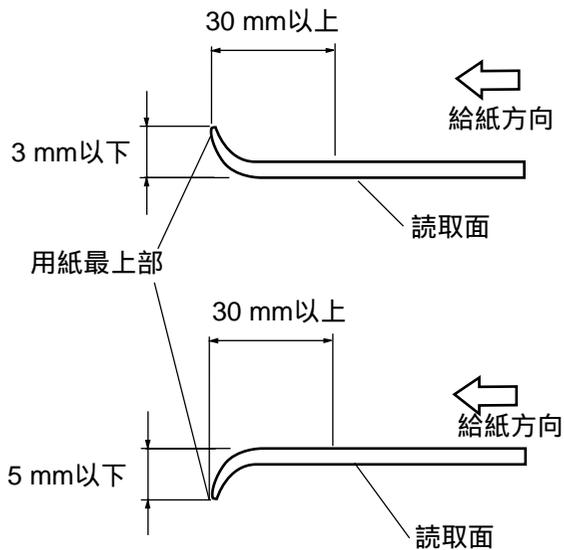
ノンカーボン紙によっては、化学成分がローラのゴムに反応してゴムを損傷させることがあります。使  
用する前にノンカーボン紙であるかどうか確認してください。

ノンカーボン紙を使用する場合の条件は以下のとおりです。

- ・連量は44 kg以上
- ・ホッパ積載量は500枚以下

 注

- ・ノンカーボン紙を使用の場合、通常の2倍の頻度でローラを清掃してください。
- ・原稿は、以下の条件を満たすようにまっすぐ伸ばしてください。



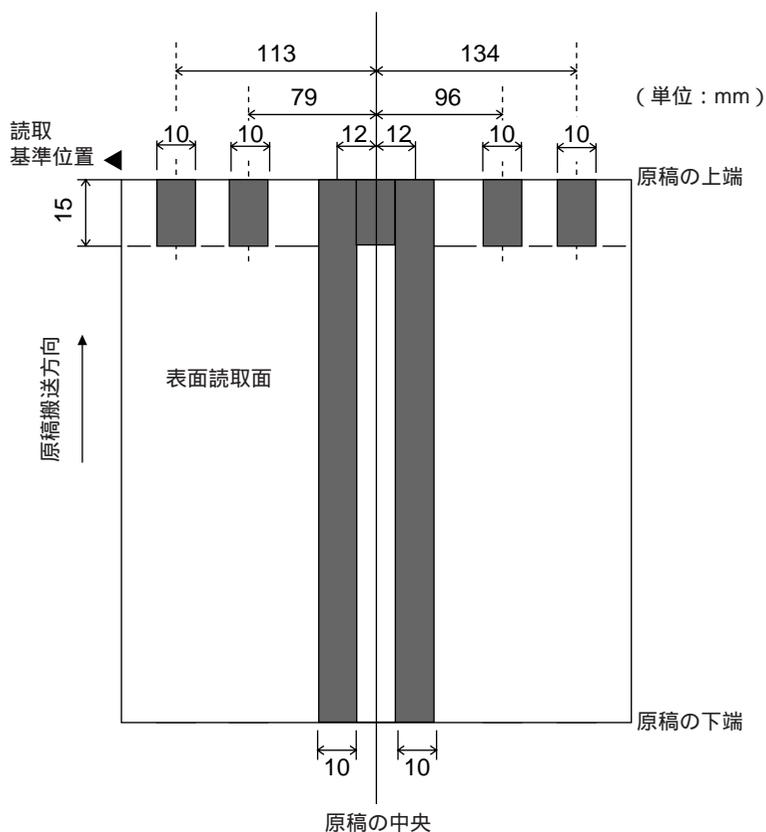
- ・折れたりしわのあるカールした原稿を読み取る場合、スタッカ上にうまくスタックされないことがあります。

# 原稿の制限

ここでは、スキャナに読み取らせる原稿に対する制限項目を説明します。

## 穴あけ禁止領域

下図に示す黒い部分への穴あけは禁止されています。この場合、原稿サイズ検出エラー、概略用紙検出エラー、または紙詰まりが起きます。



穴あけ禁止領域

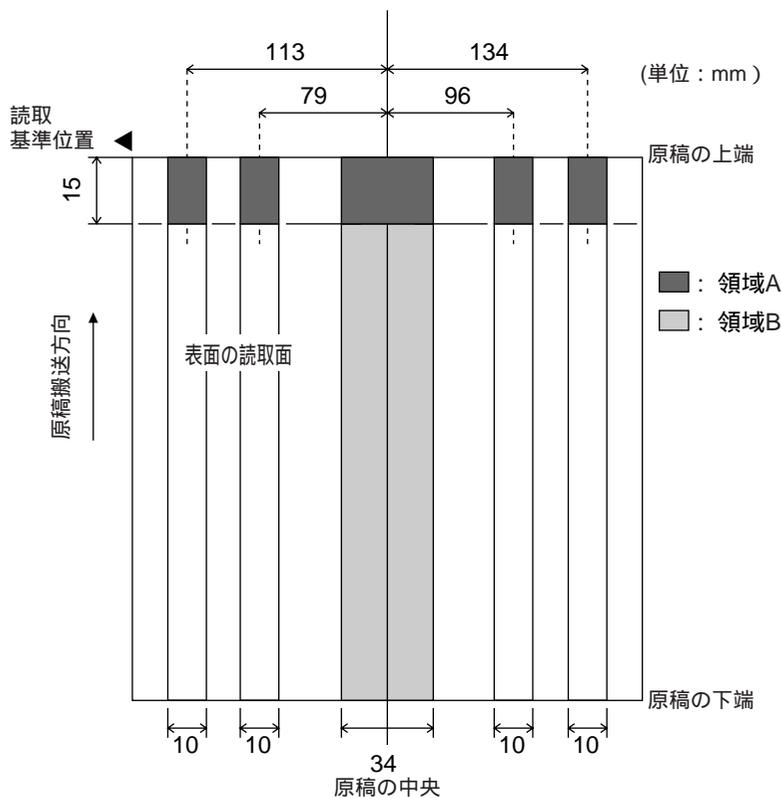
## 表面、裏面の印字禁止領域

原稿の領域Aに印刷があるときは、用紙サイズ誤検出することがあります。原稿の領域Bに印刷があるときは、まれにダブルフィードエラーとなります。下図に原稿の表面、裏面上の印字禁止領域を示します。



注

下図の原稿は、読取面から見た原稿を示します。

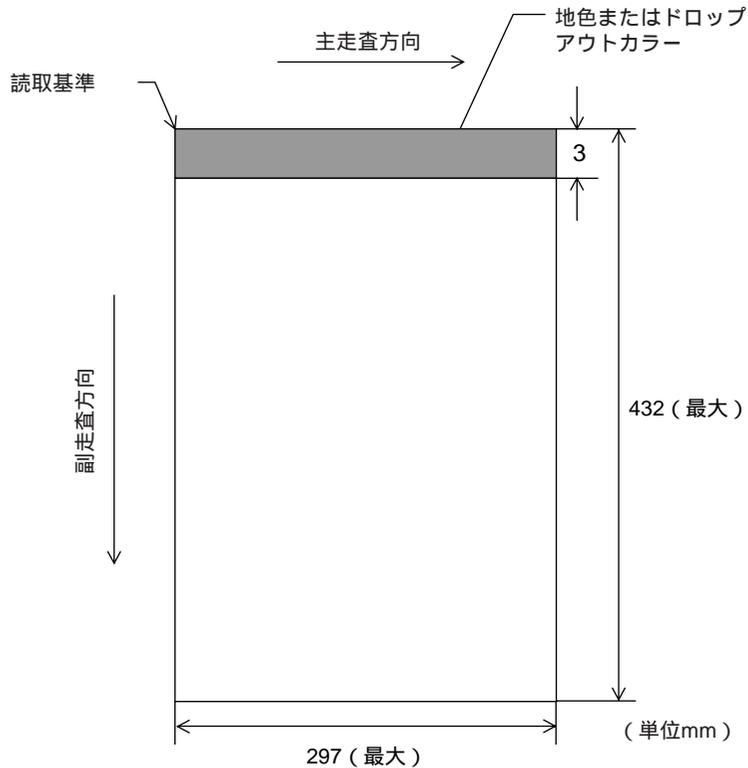


表面、裏面の印字禁止領域

# 地色領域

下図に示すように読取領域（両面）の上端3mmは、白地（用紙の地色）とします。  
白地とする場合にはドロップアウトカラーとします。これが不可能な場合は、読み取りの際にコマンド  
の線画／写真の選択で“写真”を選択する必要があります。

なお、ドロップアウトカラーについては、4-8ページを参照してください。



地色領域

# ドロップアウトカラー

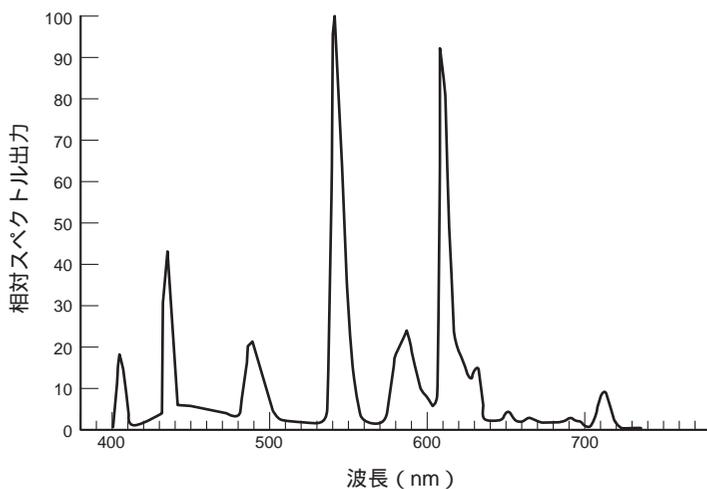
人間の目には見えてもスキャナでは読み取れないように工夫された印刷色をドロップアウトカラーと呼びます。  
原稿の下地色がドロップアウトカラーかどうかを判定する場合には、次の方法および規格に準じてください。

## 印字濃度の測定

印刷濃度の測定に使用するスペクトルバンドを図5に示します。

測定は、次に示す方法で行います。

- ・ 蛍光灯G54のスペクトルバンドを使用します。
- ・ マクベスPCSメータのPCM IIを使用します。ただし、スペクトルバンドに相当するフィルタが必要です。



スペクトルバンド

## ドロップアウトカラー基準

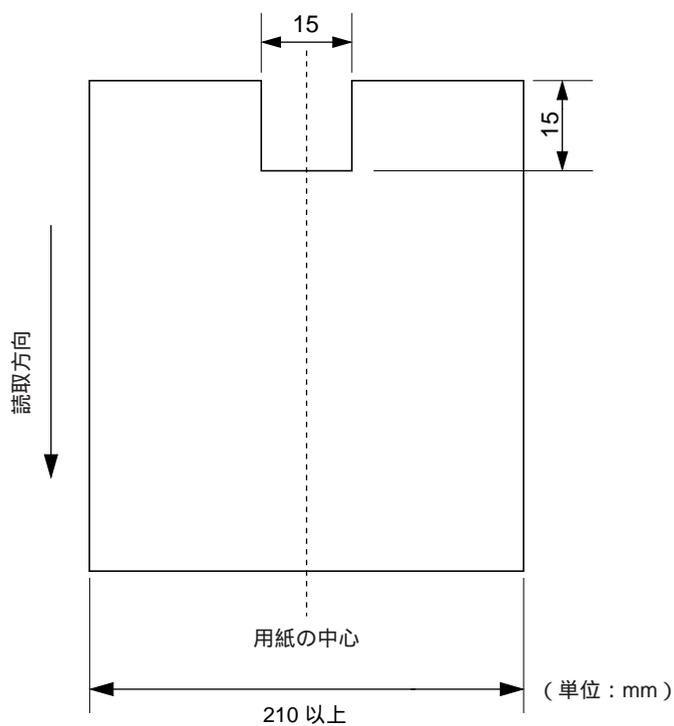
蛍光灯ランプのスペクトルにおいて、PCS値は下記の基準を満たさなければなりません。

- ・ 最大： 0.14以下
- ・ 平均： 0.1以下

# 特殊用紙

## 形状

下図に概略用紙形状を示します。



用紙形状

## 用紙の種類

4-2ページの紙質および連量に同じとします。

ただし、用紙サイズは、A4以上（幅方向で210mm以上）とします。

# 5

## 仕様

---

この章では、設置仕様、外形寸法、消耗品、オプションについて説明します。

設置仕様

外形寸法

消耗品

オプション

# 設置仕様

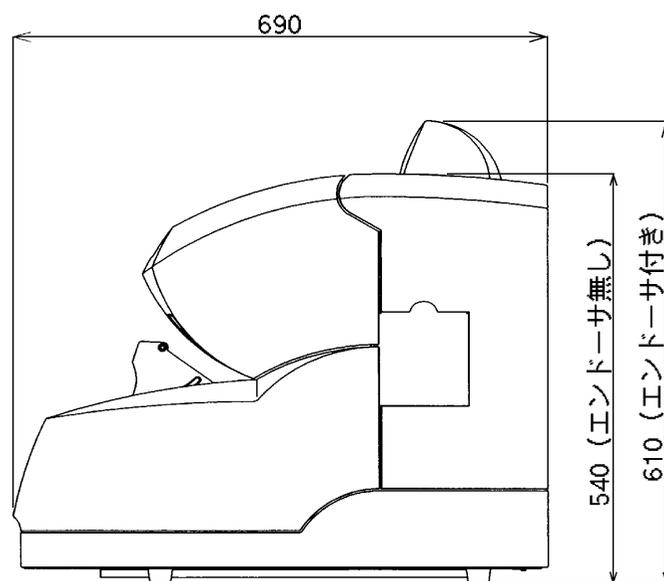
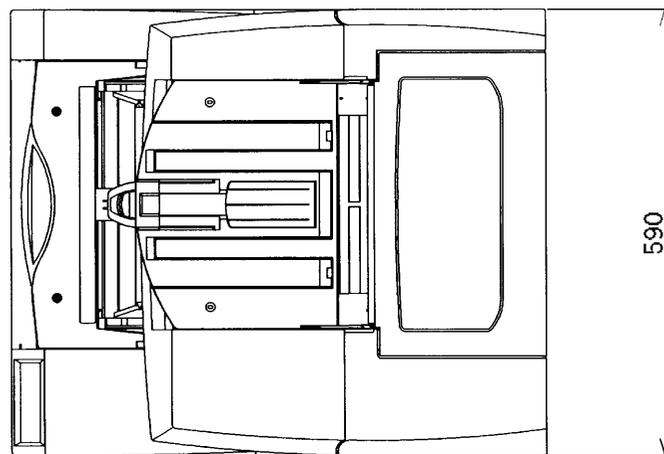
以下の表に、スキャナの設置仕様を示します。

項目		仕様		
寸法 (mm)		幅	奥行	高さ
		590	690	540 610 (エンドーサ付き)
重量 (kg)		65		
入力電源	電圧	100 ~ 240 VAC ±10 %		
	位相	単相		
	周波数	50/60 Hz + 2% -4%		
消費電力		250VA以下		
環境条件	装置ステータス	動作中	非動作中	
	温度	15 ~ 35°C	-20 ~ 60°C	
	湿度	20 ~ 80 %	8 ~ 95 %	
装置寿命		5年または200万枚		

## 注

- ・本装置の寿命は、お買い上げ後5年またはご使用枚数200万枚のいずれか早い方となります。
- ・寿命を超えてご使用された場合は、装置の故障または読み取り性能に支障が出る場合があります。

# 外形寸法



(単位: mm)

# 消耗品

以下の表に、本スキャナに使用される消耗品を示します。寿命前に、予め消耗品を準備されることをお勧めします。消耗品は定期的に変更することが必要です。本スキャナでは、消耗品カウンタを使用して、読取原稿の枚数をチェックすることができます（3-6ページを参照）。

名称	商品番号	備考
ブレードローラ	0961133	300,000枚または1年間。
ピックアップユニット	0961132	300,000枚または1年間。
パッドユニット	0961131	300,000枚または1年間。
インクカートリッジ	0312120	エンドーサ用黒色インクカートリッジ。 寿命：2万枚（10字 / 枚）
ランプ	0961130	1,000H

## 注

- ・上記表中の数値は、あくまで目安であり、上記部品の交換周期は、読み取られる原稿の種類やスキャナの清掃の度合いにより、短くなる場合があります。
- ・ノンカーボン紙など特殊な用紙を使うと交換周期が短くなります。この場合、部品によっては上記表示より早めに交換する必要があります。

# オプション

以下の表に、スキャナのオプションを示します。

名 称	仕 様	備 考
エンドーサ	CA04315-D201	インクジェット方式 ・裏面印刷 ・最大30文字
黒当てキット	CA04315-E250	

詳細については、富士通販売代理店にお問合せください。

# 6

## セットアップモード、ブラウズモード およびテストモード

---

この章では、スキャナのセットアップモード、ブラウズモードおよびテストモードについて説明します。

セットアップモード、ブラウズモードおよびテストモード

セットアップモードまたはブラウズモードの起動

セットアップモードまたはブラウズモードの内容

テストモードの起動

テストモードの内容

# セットアップモード、ブラウズモードおよびテストモード

本スキャナには、セットアップモード、ブラウズモードおよびテストモードがあり、設定が容易にできるようになっています。

- ・セットアップモードは、スキャナをお客様の要件にあわせて設定するためのものです。
- ・ブラウズモードは、セットアップモードの設定状態を表示するためのものです。
- ・テストモードは、スキャナをオフラインでテストするためのものです。

これらのモードに入るには、以下の2つの方法があります。

・方法1

LCDが「ドウサカノウ」になっているときに **MENU** を押します。

セットアップモードとブラウズモードを使用することができます。モードを終了するには、**CANCEL** を押します。

・方法2

**MENU** を押しながら、電源を投入します。

セットアップモードとブラウズモードに加えて、テストモードを使用することができます。モードを終了するには、電源を切断します。

使用可能な機能はモードやモードに入る方法によって異なります。詳細については、各機能の説明を参照してください。

## ■ セットアップモードで使用できない機能

方 法	使用できない機能
「ドウサカノウ」状態で <b>MENU</b> を押す。	ホストインタフェース、TPツウシンソクド、RS232Cツウシンソクド、SCSI ID、プロダクトID、ファンクションキー、セットアップモードロック、クロウラアテ ソウチャク
<b>MENU</b> を押しながら、電源を投入する。	スキャニングパラメータ

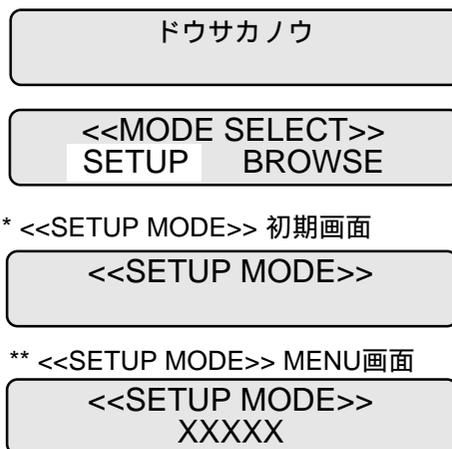
## ■ ブラウズモードで使用できない機能

使用できない機能
ヨウシアツミセッテイ

# セットアップモードまたはブラウズモードの起動

セットアップモードを起動するには、以下の手順に従います。

1. LCDが「ドウサカノウ」になっているときに  
**MENU**を押します。  
「SETUP」が点滅している<<MODE SELECT>>画面が表示されます。
2. **ENTER**を押します。  
<<SETUP MODE>>初期画面（\*）が表示されます。
3. **ENTER**を押します。  
<<SETUP MODE>>MENU画面（\*\*）が表示されま  
す。



ブラウズモードを起動するには、上記2項の前に を押して「BROWSE」を点滅させてから、2項と3項を実行します。すると、<<BROUSEMODE>>画面が表示されます。

セットアップモードを終了するには、**CANCEL**を押します。

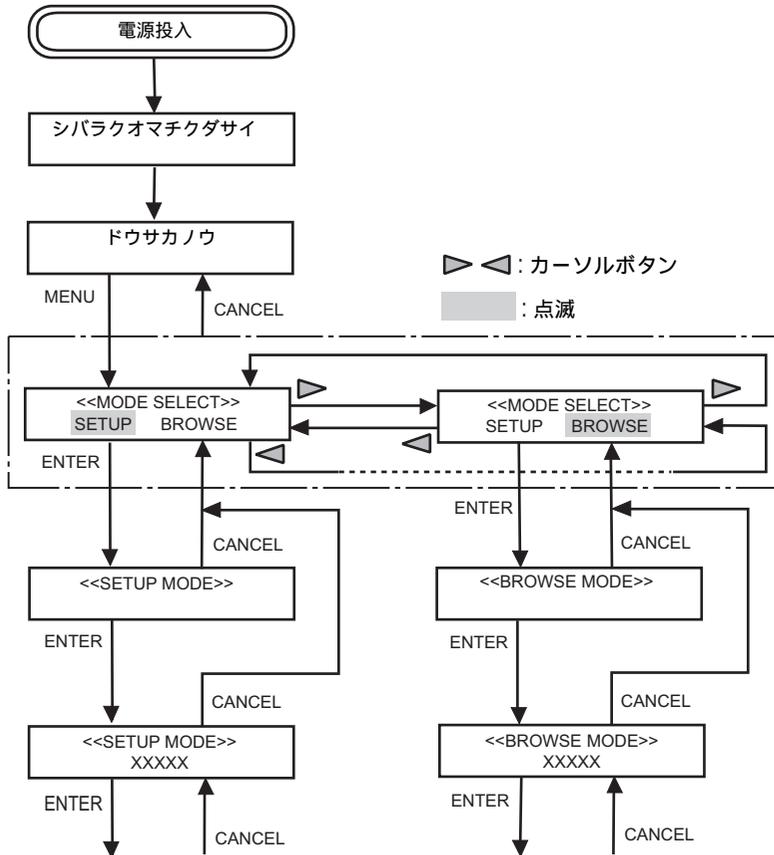
## ■ セットアップモードまたはブラウズモードのボタン機能

ボタン名	機 能
<b>MENU</b>	変更を保存せずに<<SETUP MODE>>メニュー画面に戻ります（*）。
<b>ENTER</b>	変更を保存して前の画面に戻ります（*）。
<b>CANCEL</b>	変更を保存せずに前の画面に戻ります（*）。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メニューの右側の機能を表示します。</li> <li>・右側の項目に移動します。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メニューの左側の機能を表示します。</li> <li>・左側の項目に移動します。</li> </ul>
	パラメータを変更します。
	パラメータを変更します。

\*ブラウズモードでは、「変更の保存」は選択できません。

## ■ モード選択（「ドウサカノウ」状態で **MENU** を押します）

ホストコンピュータを使わずにスキャナ上でユーザーテストを実行できるようにする別のモード選択もあります。この章で後述する「テストモードの起動」を参照してください。



# セットアップモードまたはブラウズモードの内容

この節では、セットアップモードの内容について説明します。  
 セットアップモードは、26種類に分類されます。

セットアップ項目	説明	備考
スキャニング パラメータ	片面/両面読み取り、用紙サイズ、密度、解像度、中間調を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>MENU</b> を押しながら電源投入して選択したセットアップモードでは表示されません。</li> <li>・ ビデオまたはTPインタフェース使用時に表示されます。</li> <li>・ ホストコンピュータでセットしたパラメータは変更不可です。</li> </ul>
ヨウシ ナガサチェック	用紙長さエラーを検出する機能を有効または無効にします。	ホストコンピュータでセットした選択は変更不可です。
ダブルフィード チェック	用紙厚み検出機能を有効または無効にし、検出方法を設定します。	ホストコンピュータでセットした選択は変更不可です。
ヨウシ アツミ セッテイ	ダブルフィードエラーを検出するために、許容可能紙厚を設定します。	
スキュー チェック	斜行エラー検出を有効または無効にします。	
IPC-3 モード	画像処理オプションで設定するパターンを選択します。	ホストコンピュータでセットした選択を上書きします。
ホッパ タカサ	ホッパの初期位置をセットします。	
ヨウシブリンリドウサ	用紙分離力の設定をします。	
ドロップアウトカラー	ドロップアウトカラーを選択します。	ホストコンピュータでセットした選択は変更不可です。
ショウモウヒン カウンタ	摩耗アラームを発生する間隔（1万枚単位）をセットします。	
ショウモウヒン カウンタリセット	消耗品カウンタの累積値をリセットします。	<b>MENU</b> を押しながら電源投入して選択したセットアップモードで表示されます。
ショウモウヒン アラームドウサ	消耗品カウンタ設定値に到達したときのアラーム発生方法を設定します。	<b>MENU</b> を押しながら電源投入して選択したセットアップモードで表示されます。
ブザー	エラー発生時にブザー音を作動または非作動にします。	
オンリョウ	ブザーまたはクリック音の音量をセットします。	
LCD コントラスト	LCDのコントラストを設定します。	
ピック スピード	ピックローラの速度を選択します。	

セットアップ項目	説明	備考
ホスト インタフェース	ホストインタフェースを選択します。	<b>MENU</b> を押しながら電源投入して選択したセットアップモードで表示されます。
TP_IF ツウシン ソクド	TPインタフェースの制御データ転送レート(2400、4800、9600、19200)を選択します。	<b>MENU</b> を押しながら電源投入して選択したセットアップモードで表示されます。
RS232C ツウシン ソクド	RS232Cインタフェースの転送レート(2400、4800、9600、19200)を選択します。	<b>MENU</b> を押しながら電源投入して選択したセットアップモードで表示されます。
SCSI ID	本スキャナのSCSI IDを設定します。	<b>MENU</b> を押しながら電源投入して選択したセットアップモードで表示されます。
プロダクト ID	本スキャナのプロダクトIDを設定します。	<b>MENU</b> を押しながら電源投入して選択したセットアップモードで表示されます。
プレピック	プレピックを有効または無効にします。	
ピック カイシジカン	用紙を手挿入してから繰り込み動作が開始するまでの時間を設定します。	
テソウニュー タイムアウト	ホストコンピュータが読取コマンドを発行してから用紙を手挿入するまでの待機時間を設定します。	
ピックリトライ	ピックモータ動作時間と再試行カウントを設定します。	
ハンソウリトライ	給紙モータ動作時間と再試行カウントを設定します。	
ファンクションキー	セットアップ機能を <b>F1</b> ボタン、 <b>F2</b> ボタン、 <b>F3</b> ボタンに割り当てます。	<b>MENU</b> を押しながら電源投入して選択したセットアップモードで表示されます。
セットアップ ドウサ	オペレータパネルがノーマルモードからセットアップモードになるのを禁止します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>MENU</b>を押しながら電源投入して選択したセットアップモードで表示されます。</li> <li>・ この設定に関係無く、<b>F1</b>ボタン、<b>F2</b>ボタン、<b>F3</b>ボタンに割り当てられたセットアップ機能は常に有効です。</li> </ul>
クローラアテ ソウチャク	黒裏当てを装着した場合、本機能を有効に設定します。	<b>MENU</b> を押しながら電源投入して選択したセットアップモードで表示されます。
Language	操作パネルLCD表示言語(カタカナ、English)を選択します。	
シロツイジュウウモード	白基準取込み方法を設定します。	<b>MENU</b> を押しながら電源投入して選択したセットアップモードで表示されます。



## ■ スキャニングパラメータ

本機能は、片面/両面読取モード、用紙サイズ/方向、密度、解像度、中間調処理のを設定をします。これは、スキャナがビデオまたはTP（サードパーティ）インタフェースを介してノーマルモードで動作する時に有効です。また、テストモードでの連続搬送テストでも有効です。ホストコンピュータでセットした設定は、本機能では変更できません。

LCD表示	設定内容	備 考
スキャニングパラメータ	S, D  xxx : A3タテ, ダブルレタータテ, リーガルタテ, B4タテ, A4タテ, レタータテ, B5タテ, A5タテ, A4ヨコ, レターヨコ, B5ヨコ, A5ヨコ, NPS  ・ ・ （ 5 段階 ）, AT1, AT2  xxx : 200, 240, 300, 400 xxx : LA, HT1, HT2, LH1, LH2	読取モード S : 片面 D : 両面 用紙サイズ/方向 タテ: ポートレート ヨコ: ランドスケープ An: 標準サイズA Bn: 標準サイズB NPS: 非標準サイズ、ホストコンピュータでセットされた場合に表示される。 密度 ライト（うすく） ダーク（こく） AT1: 自動 AT2: 単純自動 解像度（単位：dpi） 中間調処理 LA: ラインアート（中間調なし） HT1: ディザ HT2: 誤差拡散 LH1: 文字領域ではラインアート、中間調領域ではディザ LH2: 文字領域ではラインアート、中間調領域では誤差拡散

\* 密度の記号は、LCDで使用されている実際の記号と異なることがあります。

以下に、解像度を変更するときの操作例を示します。

### 注

- ・ スキャナがビデオインタフェースまたはTPインタフェースを介して制御されていない場合は、「スキャンングパラメータ」画面は表示されません。
- ・ **MENU** を押しながら電源を投入してセットアップモードを立ち上げた場合、この機能を使用することはできません。

1. <<SETUPMODE>>初期画面で、**ENTER** を押し  
ます。  
<<SETUPMODE>>メニュー画面（スキャンングパラメ  
ータ）が表示されます。

<<SETUP MODE>>

2. 再び **ENTER** を押します。  
Sが点滅している画面が表示されます。

<<SETUP MODE>>  
スキャンング パラメータ

3.  を3回押します。  
現在の解像度200が点滅します（点滅は「変更可能」  
なことを示します）。

S A4罫 AT2 200 LA  
AT2 LA

4. **ENTER** を押します。  
200が点滅しているカイゾウド画面が表示されます。

カイゾウド  
200

5.  または  を押します。  
数値表示が変わります（240、300または400）。

カイゾウド  
400

6. 必要な数値が表示されたら、**ENTER** を押して変更  
を保存します。  
新しい数値が点滅している画面が表示されます。

S A4罫 AT2 400 LA  
AT2 LA

7. **CANCEL** を3回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。

ドウサカノウ

## ■ 用紙長さチェック

本機能は、用紙の長さの差異を設定し検出します。ホストコンピュータでセットした設定は、変更できません。

LCD表示	設定内容	備考
ヨウシナガサ チェック	オン、オフ（工場出荷状態: オフ） 10 mm、15 mm、20 mm （工場出荷状態: 10 mm）	検出するかしないか 用紙長さの差異： XX mmは、用紙長の実際の差異がXX mmの範囲内ならばエラーとみなされないことを意味します。

以下に、本機能を設定するときの操作例を示します。

1. <<SETUPMODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUPMODE>>メニュー画面（スキャニングパラメータまたはヨウシ ナガサチェック）が表示されます。



注

スキャナがビデオインタフェースまたはTPインタフェースを介して制御されていない場合は、「スキャニングパラメータ」画面は表示されず、次の「ヨウシ ナガサチェック」画面が最初に表示されます。

2. メニュー画面が「スキャニングパラメータ」になれば、を押します。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面（ヨウシ ナガサチェック）が表示されます。
3. **ENTER**を押します。  
ONが点滅している画面が表示されます（点滅は「変更可能」なことを示します）。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
スキャニング パラメータ

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサチェック

ヨウシ ナガサチェック  
ON 10 mm

4. を押します。  
現在の差異10 mmが点滅します（点滅は「変更可能」なことを示します）。
5. または を押します。  
表示が変わります（15 mmまたは20 mm）。
6. 必要な数値が表示されたら、**ENTER**を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面（ヨウシ ナガサチェック）に戻ります。
7. **CANCEL**を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。

ヨウシ ナガサチェック  
ON 10 mm

ヨウシ ナガサチェック  
ON 20 mm

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサチェック

ドウサカノウ

## ■ ダブルフィードチェック

本機能は、ダブルフィードエラーを検出するためにセットアップモードの用紙厚み設定機能で設定した紙厚を有効にするかどうかを設定します。ホストコンピュータでセットした設定は、変更できません。

LCD表示	設定内容	備考
ダブルフィードチェック	OFF、トウカリヨウ & ローラチェック、 トウカリヨウチェック (工場出荷状態: OFF)	OFF: ダブルフィードチェックを無効にします。 トウカリヨウ & ローラチェック: 原稿の透過量とブレーキローラの回転を チェックしダブルフィードを検出します。 トウカリヨウチェック: 原稿の透過量をチェックしダブルフィードを 検出します。

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUPMODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUPMODE>>メニュー画面（スキャニングパラメータまたはヨウシ ナガサチェック）が表示されます。

<<SETUP MODE>>

### 注

スキャナがビデオインタフェースまたはTPインタフェースを介して制御されていない場合は、「スキャニングパラメータ」画面は表示されず、「ヨウシ ナガサチェック」画面が最初に表示されます。

2.  を押します。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面（ダブル フィードチェック）が表示されます。
3. **ENTER** を押します。  
OFFが点滅している画面が表示されます（点滅は「変更可能」なことを示します）。
4.  または  を押します。  
表示が変わります（トウカリヨウ & ローラチェックが点滅）。
5. **ENTER** を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面（ダブル フィードチェック）に戻ります。
6. **CANCEL** を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。

<<SETUP MODE>>  
スキャニング パラメータ

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサチェック

<<SETUP MODE>>  
ダブル フィードチェック

ダブル フィードチェック  
チェック: OFF

ダブル フィードチェック  
トウカリヨウ & ローラチェック

<<SETUP MODE>>  
ダブル フィードチェック

ドウサカノウ

## ■ 用紙厚み設定

本機能は、ダブルフィード検出の基準となる用紙の厚さを設定します。本機能の有効、無効の設定はセットアップモードのダブルフィードチェック機能で行います。

### 注

この設定はブラウザモードで表示しません。

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUPMODE>>MENU画面（スキャニング パラメータ  
またはヨウシ ナガサチェック）が表示されます。

 注

スキャナがビデオインタフェースまたはTPインタフェースを介して制御されていない場合は、「スキャニング パラメータ」画面は表示されず、「ヨウシ ナガサチェック」画面が最初に表示されます。

2.  を2回押します。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面（ヨウシ アツミ  
セッテイ）が表示されます。
3. **ENTER**を押します。  
設定用紙挿入を促す画面が表示されます。
4. 使用する最も厚い用紙を選択し、用紙をホッパにセットしてください。
5. **ENTER**を押します。  
「チョウセイチュウ！！」メッセージが表示されます。ホッパが上昇し、用紙を繰り込み、センサの感知レベルを調整後、その値を保存します。  
用紙排出後、「セッテイサレマシタ！！」メッセージが2秒間表示され、LCDが<<SETUPMODE>>メニュー画面（ヨウシ アツミ セッテイ）に戻ります。  
調整中にエラー（たとえば、ピックアップ）が発生した場合、用紙を取り出し、**CANCEL**を押します。用紙のセットを促す画面が再び表示されます。上記4項と5項を繰り返します。
6. **CANCEL**を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
スキャニング パラメータ

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサチェック

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ アツミ セッテイ

ヨウシ アツミ セッテイ  
チョウセイヨウシヲ セットシテクダサイ

ヨウシ アツミ セッテイ  
チョウセイチュウ！！

ヨウシ アツミ セッテイ  
セッテイサレマシタ！！

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ アツミ セッテイ

ドウサカノウ

## ■ 斜行チェック

本機能は、異常な斜行を検出するかどうかを設定します。ホストコンピュータでセットした設定は、変更できません。

LCD表示	設定内容	備考
スキュー チェック	ON、OFF (工場出荷状態: OFF)	

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUPMODE>>メニュー画面(スキャニング パラメータまたはヨウシ ナガサチェック)が表示されます。



注

スキャナがビデオインタフェースまたはTPインタフェースを介して制御されていない場合は、「スキャニング パラメータ」画面は表示されず、「ヨウシ ナガサチェック」画面が最初に表示されます。

2. を3回押します。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面(スキュー チェック)が表示されます。
3. **ENTER**を押します。  
OFFが点滅している画面が表示されます(点滅は「変更可能」なことを示します)。
4. またはを押します。  
表示が変わりません(ONが点滅)。
5. **ENTER**を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面(スキュー チェック)に戻ります。
6. **CANCEL**を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
スキャニング パラメータ

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサチェック

<<SETUP MODE>>  
スキュー チェック

スキュー チェック  
ケンシュツ: OFF

スキュー チェック  
ケンシュツ: ON

<<SETUP MODE>>  
スキュー チェック

ドウサカノウ

## ■ IPC-3モード

本機能は、IPC-3画像処理機能で設定するパターンを選択します。

LCD表示	設定内容	備 考
IPC-3 モード	0, 1, 2, 3, 4, 5	0: パターンを選択しない 1~5: パターン番号1~5を選択する

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUPMODE>>メニュー画面（スキャニング パラメータまたはヨウシ ナガサチェック）が表示されません。



注

スキャナがビデオインタフェースまたはTPインタフェースを介して制御されていない場合は、「スキャニング パラメータ」画面は表示されず、「ヨウシ ナガサチェック」画面が最初に表示されます。

2. を4回押します。  
<<SETUP MODE>>メニュー画面（IPC-3 モード）が表示されます。
3. **ENTER**を押します。  
0が点滅している画面が表示されます（点滅は「変更可能」なことを示します）。
4. またはを押します。  
表示が変わります（1、2、3、4、5）。
5. 必要なパターン番号が表示されたら、**ENTER**を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面（IPC-3 モード）に戻ります。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
スキャニング パラメータ

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサチェック

<<SETUP MODE>>  
IPC-3 モード

IPC-3 モード  
0

IPC-3 モード  
5

<<SETUP MODE>>  
IPC-3 モード



ファンクションキーから設定を行なう場合にはイニシャライズするかどうか聞いてきます。処理を保存する場合は(ENTER)を、処理を保存しない場合は(CANCEL)を押してください。

- (CANCEL)を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。

## 用紙の分類と対応表

2値(ラインアート)読み取りにおいて、お客様が入力される用紙を分類すると、以下の表のとおりとなります。

- ・表の横軸は用紙内の文字/線に対する背景の濃さ、背景の色を示します。
- ・表の縦軸は用紙内の文字/線の濃さを示します。

		背景の濃さ		背景色		
		普通	濃	赤	緑	青
文字の濃さ	普通	1: 背景と文字が普通の濃さ	3: 濃い背景で文字が普通			
	淡	2: 背景が普通で淡い文字		4: 赤系の背景で淡い文字	5: 緑系の背景で淡い文字	

\*1~5はパターン番号。



IPC-3モードをオンライン状態で実行すると、読取パラメータの有効または無効(ホスト設定は無効)は、次ページの表のとおりです。

## 読取パラメータの有効または無効

	読取パラメータ							
	読取形態	転送モード	転送レート	縮小	読取開始指定	濃度	線画/写真	中間調
有効						×	×	×
無効	×	×	×	×	×			

	読取パラメータ							
	自動2値	サイズ	縦/横	切り出し	原稿選択	rパターン	コントラスト	像域分離
有効	×					×	×	×
無効		×	×	×	×			

	読取パラメータ					
	反転	強調	輪郭抽出	オーバーレイ	簡易2値	倍率
有効		×	×	×	×	
無効	×					×

## ■ ホッパ高さ

本機能は、ホッパの初期高さを設定します。お客様がよくご使用になれるホッパ高さに設定してください。

LCD表示	設定内容	備考
ホッパ タカサ	250枚、500枚、1000枚	

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUPMODE>>メニュー画面（スキャニング パラメータまたはヨウシ ナガサチェック）が表示されず。

 注

スキャナがビデオインタフェースまたはTPインタフェースを介して制御されていない場合は、「スキャニング パラメータ」画面は表示されず、「ヨウシ ナガサチェック」画面が最初に表示されます。

2. メニュー画面の下の行に「ホッパ タカサ」と表示されるまで、を繰り返し押します。
3. **ENTER**を押します。  
現在の高さ設定1000枚が点滅している画面が表示されます（点滅は「変更可能」なことを示します）。
4. を押します。  
ホッパが500枚の位置に移動し、新しい高さ設定500枚が点滅します。

 注

またはを押すたびに、ホッパは次の位置に移動し、その位置が自動的に保存されます。ホッパが希望の高さになるまで、この操作を繰り返します。

位置合せの最中にエラーが発生した場合、**CANCEL**を押します。LCDはホッパ高さ選択画面に戻ります。上記4項を繰り返します。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
スキャニング パラメータ

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサチェック

<<SETUP MODE>>  
ホッパ タカサ

ホッパ タカサ  
1000 マイ

ホッパ タカサ  
500 マイ

5. **CANCEL** を3回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。

ドウサカノウ

この設定の後では、ホッパは電源を投入するたびに新しい高さに設定されます。

## ■ 用紙分離力設定

本機能は、原稿繰り込み時に用紙に合った分離を行うためにブレーキローラ力を設定します。

LCD表示	設定内容	備 考
ヨウシブンリドウサ	アツイ、ヤヤアツイ、フツウ、ヤヤウスイ、ウスイ（工場出荷状態: フツウ）	アツイ: 厚紙には強いブレーキ力 !（用紙の厚さに従って変わる） ウスイ: 薄紙には弱いブレーキ力

以下のエラーが頻繁に発生する場合、表の説明に従って設定してください。

- ・ダブルフィード
- ・ピックアップミス
- ・カミヅマリ1

以下の表に従って「用紙分離力」を設定します。

設定	ブレーキ力	「ダブルフィード」が頻繁に発生する	「ピックアップミス」または「カミヅマリ1」が頻繁に発生する
アツイ	強	 <p>ブレーキ力をより強くする。</p>	 <p>ブレーキ力をより弱くする。</p>
ヤヤアツイ	中強		
フツウ	中（工場設定値）		
ヤヤウスイ	中弱		
ウスイ	弱		

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUPMODE>>メニュー画面（スキャニング パラメータまたはヨウシ ナガサチェック）が表示されず。

 注

スキャナがビデオインタフェースまたはTPインタフェースを介して制御されていない場合は、「スキャニング パラメータ」画面は表示されず、「ヨウシ ナガサチェック」画面が最初に表示されます。

2. メニュー画面の下の行に「ヨウシブンドウサ」と表示されるまで、を繰り返し押します。
3. **ENTER**を押します。  
フツウが点滅している画面が表示されます（点滅は「変更可能」なことを示します）。
4. またはを押します。  
表示が変わります（アツイ ウスイ）。
5. 希望のパラメータが表示されたら、**ENTER**を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUPMODE>>メニュー画面（ヨウシブンドウサ）に戻ります。
6. **CANCEL**を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
スキャニング パラメータ

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサチェック

<<SETUP MODE>>  
ヨウシブンドウサ

ヨウシブンドウサ  
フツウ

ヨウシブンドウサ  
ヤヤウスイ

<<SETUP MODE>>  
ヨウシブンドウサ

ドウサカノウ

## ■ ドロップアウトカラー

本機能は、表面と裏面のドロップアウトカラーをそれぞれ設定します。ホストコンピュータでセットした設定は、変更できません。

LCD表示	設定内容	備 考
ドロップアウトカラー	オモテメン：ミドリ、アカ、アオ (工場出荷状態: ミドリ) ウラメン：ミドリ、アカ、アオ (工場出荷状態: ミドリ)	

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUPMODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUPMODE>>メニュー画面（スキャニング パラメータまたはヨウシ ナガサチェック）が表示されません。



注

スキャナがビデオインタフェースまたはTPインタフェースを介して制御されていない場合は、「スキャニング パラメータ」画面は表示されず、「ヨウシ ナガサチェック」画面が最初に表示されます。

2. メニュー画面の下の行に「ドロップアウトカラー」と表示されるまで、を繰り返し押します。
3. **ENTER**を押します。  
「オモテメン：ミドリ」が点滅している画面が表示されます（点滅は「変更可能」なことを示します）。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
スキャニング パラメータ

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサチェック

<<SETUP MODE>>  
ドロップアウトカラー

ドロップアウトカラー  
オモテメン:ミドリ ウラメン:ミドリ

4. を押します。  
「ウラメン：ミドリ」が点滅します（点滅は「変更可能」なことを示します）。
5. または を押します。  
表示が変わります（アオまたはアカ）。
6. 設定したい色が表示されたら、**ENTER**を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面（ドロップアウトカラー）に戻ります。
7. **CANCEL**を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。

ドロップアウトカラー  
オモテメン:ミドリ ウラメン:ミドリ

ドロップアウトカラー  
オモテメン:ミドリ ウラメン:アカ

<<SETUP MODE>>  
ドロップアウトカラー

ドウサカノウ

## ■ 消耗品カウンタ

本機能は、消耗品の寿命を知らせるためのカウンタの値を表示したり、セットしたりします。用紙搬送枚数が設定値になると、アラームが動作します。ご使用の用紙の種類に従って、この値を変更してください。上質紙の場合、ピックアップユニット、プレーキローラ、パッドユニットの交換目安は30万枚搬送毎です。消耗品カウンタは0300000（30万枚）に設定されることをお勧めします。

LCD表示	設定内容	備 考
ショウモウヒン カウンタ	10000から2560000枚 (工場出荷状態: 0300000枚)	この設定は、1万枚単位で変更できます。 下4桁のゼロは自動的に追加されます。

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUPMODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUPMODE>>メニュー画面（スキニング パラメータまたはヨウシ ナガサチェック）が表示されます。



注

スキャナがビデオインタフェースまたはTPインタフェースを介して制御されていない場合は、「スキニング パラメータ」画面は表示されず、「ヨウシ ナガサチェック」画面が最初に表示されます。

2. メニュー画面の下の方に「ショウモウヒン カウンタ」と表示されるまで、を繰り返し押します。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
スキニング パラメータ

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサチェック

<<SETUP MODE>>  
ショウモウヒン カウンタ

3. **ENTER** を押します。  
現在の値が点滅して、選択画面が表示されます（点滅は「変更可能」なことを示します）。
4.  または  を押します。  
設定数値が変わります（1～256、設定数値は1万枚単位で変更できます）。 または  を押し続けると、数字の変化が速くなります。
5. 必要な数値が表示されたら、**ENTER** を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面（ショウモウヒン カウンタ）に戻ります。
6. **CANCEL** を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。

ショウモウヒン カウンタ  
2560000 マイ

ショウモウヒン カウンタ  
0300000 マイ

<<SETUP MODE>>  
ショウモウヒン カウンタ

ドウサカノウ

## ■ 消耗品カウンタリセット

本機能は、消耗品カウンタの累積値が設定値に到達する前に消耗品を交換したときに使用します。



ドウサカノウ状態のときに **MENU** を押してセットアップモードを立ち上げた場合には、本機能を使用することはできません。

LCD表示	設定内容	備考
ショウモウヒンカウンタ リセット	YES、NO	YES：消耗品カウンタ値をリセットします。 NO：リセットを中止します。

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUPMODE>>メニュー画面（スキャニング パラメータまたはヨウシ ナガサチェック）が表示されず。

 注

スキャナがビデオインタフェースまたはTPインタフェースを介して制御されていない場合は、「スキャニング パラメータ」画面は表示されず、「ヨウシ ナガサチェック」画面が最初に表示されます。

2. メニュー画面の下の行に「ショウモウヒンカウンタ リセット」と表示されるまで、を繰り返し押します。
3. **ENTER**を押します。  
NOが点滅している画面が表示されます（点滅は「変更可能」なことを示します）。
4. またはを押します。  
表示が変わります（YESが点滅）。
5. **ENTER**を押して消耗品カウンタをリセットします。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面（ショウモウヒンカウンタ リセット）に戻ります。
6. <<SETUP MODE>>を終了するには、電源を切断します。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
スキャニング パラメータ

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサチェック

<<SETUP MODE>>  
ショウモウヒンカウンタ リセット

リセット ショウモウヒンカウンタ  
NO 00250000

リセット ショウモウヒンカウンタ  
YES 00250000

リセットサレマシタ！！

<<SETUP MODE>>  
ショウモウヒンカウンタ リセット

## ■ 消耗品アラーム動作

本機能は、消耗品カウンタ設定値に累積値が到達したときのアラーム発生方法を設定します。



ドウスカノウ状態のときに **MENU** を押してセットアップモードを立ち上げた場合には、本機能を使用することはできません。

LCD表示	設定内容	備 考
ショウモウヒンアラーム ドウサ	アラームヒョウジ & テイシ ケイコクヒョウジ (工場出荷状態: アラームヒョウジ & テイシ)	アラームヒョウジ & テイシ: 消耗品カウンタ 設定値に累積値が到達したとき、アラーム 表示を行い読取り動作を停止します。 ケイコクヒョウジ: 消耗品カウンタ設定値に累 積値が到達したとき、アラーム表示を行いま ず(読取り動作は続けます)。

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER** を押し  
ます。  
<<SETUPMODE>>メニュー画面(スキャニング パラ  
メータまたはヨウシ ナガサチェック)が表示されま  
す。



スキャナがビデオインタフェースまたはTPインタ  
フェースを介して制御されていない場合は、「スキャ  
ニング パラメータ」画面は表示されず、「ヨウシ  
ナガサチェック」画面が最初に表示されます。

2. メニュー画面の下の行に「ショウモウヒンアラーム  
ドウサ」と表示されるまで、 を繰り返し押しま  
す。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
スキャニング パラメータ

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサチェック

<<SETUP MODE>>  
ショウモウヒンアラーム ドウサ

3. **ENTER** を押します。  
アラームヒョウジ & テイシが点滅している画面が表示されます（点滅は「変更可能」なことを示します）。
4.  または  を押します。  
表示が変わります（ケイコクヒョウジが点滅）。
5. **ENTER** を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面（ショウモウヒンアラーム ドウサ）に戻ります。
6. <<SETUP MODE>>を終了するには、電源を切断します。

ショウモウヒンアラーム ドウサ  
アラームヒョウジ & テイシ

ショウモウヒンアラーム ドウサ  
ケイコクヒョウジ

<<SETUP MODE>>  
ショウモウヒンアラーム ドウサ

## ■ ブザー

本機能は、エラーが発生したときのブザー音を有効にしたり、無効にしたりします。



操作パネルボタンを押したときは、この設定に関係無くブザー音が鳴ります。

LCD表示	設定内容	備考
ブザー	オン、オフ（工場出荷状態: オフ）	

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER** を押し  
ます。  
<<SETUPMODE>>メニュー画面（スキャニング パラ  
メータまたはヨウシ ナガサチェック）が表示されま  
す。

 注

スキャナがビデオインタフェースまたはTPインタ  
フェースを介して制御されていない場合は、「スキャ  
ニング パラメータ」画面は表示されず、「ヨウシ  
ナガサチェック」画面が最初に表示されます。

2. メニュー画面の下の行に「ブザー」と表示されるま  
で、 を繰り返し押します。
3. **ENTER** を押します。  
OFFが点滅して、選択画面が表示されます（点滅は  
「変更可能」なことを示します）。
4.  または  を押します。  
表示が変わりません（ONが点滅）。
5. **ENTER** を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面（ブザー）に  
戻ります。
6. **CANCEL** を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
スキャニング パラメータ

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサチェック

<<SETUP MODE>>  
ブザー

ブザー  
OFF

ブザー  
ON

<<SETUP MODE>>  
ブザー

ドウサカノウ

## ■ ブザー音量

本機能は、ブザーの音量を6段階で設定します。



この設定は、エラーが発生したときと、操作パネルボタンを押したときのどちらの場合にも有効です。

LCD表示	設定内容	備考
オンリョウ	! (工場出荷状態: )	最小 ! (6段階) 最大

\* 音量の記号は、LCDで使用されている実際の記号と異なることがあります。

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUPMODE>>メニュー画面(スキャニング パラメータまたはヨウシ ナガサチェック)が表示されません。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
スキャニング パラメータ

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサチェック



スキャナがビデオインタフェースまたはTPインタフェースを介して制御されていない場合は、「スキャニング パラメータ」画面は表示されず、「ヨウシ ナガサチェック」画面が最初に表示されます。

2. メニュー画面の下の方に「オンリョウ」と表示されるまで、を繰り返し押します。

<<SETUP MODE>>  
オンリョウ

3. **ENTER**を押します。  
現在の設定 が表示されているオプション選択画面が表示されます(点滅していませんが、変更可能です)。

オンリョウ  
シヨウ                      ダイ

4.  または  を押します。  
表示状態が変わります( から  
、または )



5. 必要な設定値が表示されたら、**ENTER** を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面 ( オンリョウ ) に戻ります。



6. **CANCEL** を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。



## ■ LCDコントラスト

本機能は、本操作パネル上のLCDのコントラストを6段階で設定します。

LCD表示	設定内容	備 考
LCDコントラスト	! (工場出荷状態: )	暗 (低コントラスト) ! (6段階) 明 (高コントラスト)

\* 高低量の記号は、LCDで使用されている実際の記号と異なることがあります。

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER** を押します。  
<<SETUPMODE>>メニュー画面 ( スキャニング パラメータまたはヨウシ ナガサチェック ) が表示されません。



### 注

スキャナがビデオインタフェースまたはTPインタフェースを介して制御されていない場合は、「スキャニング パラメータ」画面は表示されず、「ヨウシ ナガサチェック」画面が最初に表示されます。



2. メニュー画面の下の行に「LCDコントラスト」と表示されるまで、を繰り返し押します。

<<SETUP MODE>>  
LCDコントラスト

3. **ENTER**を押します。  
現在の設定 が表示されて、選択画面が表示されます（点滅していませんが、変更可能です）。

LCDコントラスト  
クライ アカルイ

4. またはを押します。  
表示状態が変わります（  から 、または  ）。

LCDコントラスト  
クライ アカルイ

5. 必要な設定値が表示されたら、**ENTER**を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面（LCDコントラスト）に戻ります。

<<SETUP MODE>>  
LCDコントラスト

6. **CANCEL**を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。

ドウサカノウ

## ■ ピックスピード

本機能は、ピックアップの回転速度を設定します。ピックアップを起しやすい薄い用紙または柔らかい用紙を使用するときには、低速での使用をお勧めします。

LCD表示	設定内容	備考
ピックスピード	オソイ、フツウ、ハヤイ（工場出荷状態: ハヤイ）	



ピックスピードを「オソイ」にセットすると、読取処理速度が遅くなります。

以下の表に従って「ピックスピード」を設定します。

ピックスピード	「ピックミス」が頻繁に発生する
ハイ (工場出荷状態)	 ピックスピードを遅くします
フツウ	
オソイ	

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUPMODE>>メニュー画面 (スキャニング パラメータまたはヨウシ ナガサチェック) が表示されず。

 注

スキャナがビデオインタフェースまたはTPインタフェースを介して制御されていない場合は、「スキャニング パラメータ」画面は表示されず、「ヨウシ ナガサチェック」画面が最初に表示されます。

2. メニュー画面の下の行に「ピック スピード」と表示されるまで、を繰り返し押します。
3. **ENTER**を押します。  
現在の設定ハイが点滅して、選択画面が表示されます (点滅は「変更可能」なことを示します)。
4. またはを押します。  
表示が変わります (オソイが点滅)。
5. **ENTER**を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面 (ピック スピード)に戻ります。
6. **CANCEL**を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
スキャニング パラメータ

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサチェック

<<SETUP MODE>>  
ピック スピード

ピック スピード  
ハイ

ピック スピード  
オソイ

<<SETUP MODE>>  
ピック スピード

ドウサカノウ

## ■ ホストインタフェース

本機能は、ホストインタフェースを設定します。



ドウサカノウ状態のときに **MENU** を押してセットアップモードを立ち上げた場合には、本機能を使用することはできません。

LCD表示	設定内容	備 考
ホスト インタフェース	AUTO、SCSI、VIDEO、TP_IF (工場出荷状態: AUTO)	AUTO: ホストコンピュータがコマンドを発行したインタフェースを介して、スキャナが自動的にそのインタフェースを検出する。 TP_IF: サードパーティインタフェース。

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER** を押しします。  
<<SETUPMODE>>メニュー画面 (スキャニング パラメータまたはヨウシ ナガサチェック) が表示されません。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
スキャニング パラメータ



スキャナがビデオインタフェースまたはTPインタフェースを介して制御されていない場合は、「スキャニング パラメータ」画面は表示されず、「ヨウシ ナガサチェック」画面が最初に表示されます。

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサチェック

2. メニュー画面の下の行に「ホストインタフェース」と表示されるまで、 を繰り返し押しします。

<<SETUP MODE>>  
ホストインタフェース

3. **ENTER** を押しします。  
現在の設定AUTOが点滅して、選択画面が表示されません (点滅は「変更可能」なことを示します)。

ホストインタフェース  
AUTO

- ▼ または ▲ を押します。  
表示が変わります (SCSI、VIDEO、TP\_IF)。
- 必要なインタフェースが表示されたら、**ENTER** を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUPMODE>>メニュー画面 (ホストインタフェース) に戻ります。
- <<SETUPMODE>>を終了するには、電源を切断します。

ホストインタフェース  
VIDEO

<<SETUP MODE>>  
ホストインタフェース

## ■ TP\_IF通信速度

本機能は、サードパーティーインタフェース (TP\_IF) の通信速度に従って通信速度を設定します。ホストインタフェースより遅い速度を設定してください。



注

ドウサカノウ状態のときに **MENU** を押してセットアップモードを立ち上げた場合には、本機能を使用することはできません。

LCD表示	設定内容	備 考
TP_IF ツウシン ソクド	2400、4800、9600、19200 (工場出荷状態: 9600)	単位: ボー

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

- <<SETUPMODE>>初期画面で、**ENTER** を押します。  
<<SETUPMODE>>メニュー画面 (スキャニング パラメータまたはヨウシ ナガサチェック) が表示されません。



注

スキャナがビデオインタフェースまたはTPインタフェースを介して制御されていない場合は、「スキャニング パラメータ」画面は表示されず、「ヨウシ ナガサチェック」画面が最初に表示されます。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
スキャニング パラメータ

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサチェック

2. メニュー画面の下の行に「TP-IF ツウシン ソクド」と表示されるまで、を繰り返し押します。

<<SETUP MODE>>  
TP-IF ツウシン ソクド

3. **ENTER**を押します。  
現在の設定9600が点滅して、選択画面が表示されます（点滅は「変更可能」なことを示します）。

TP-IF ツウシン ソクド  
9600

4. またはを押します。  
表示が変わります（19200、2400、4800）。

TP-IF ツウシン ソクド  
19200

5. 設定したい速度が表示されたら、**ENTER**を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUPMODE>>メニュー画面（TP-IF ツウシン ソクド）に戻ります。

<<SETUP MODE>>  
TP-IF ツウシン ソクド

6. <<SETUPMODE>>を終了するには、電源を切断します。

## ■ RS232C通信速度

本機能は、RS232Cインタフェースの通信速度に従って通信速度を設定します。ホストインタフェースより遅い速度を設定してください。



注

ドウサカノウ状態のときに**MENU**を押してセットアップモードを立ち上げた場合には、本機能を使用することはできません。

LCD表示	設定内容	備考
RS232C ツウシンソクド	2400、4800、9600、19200（工場出荷状態: 4800）	単位: ボー

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUPMODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUPMODE>>メニュー画面（スキャンング パラメータまたはヨウシ ナガサチェック）が表示されま  
す。

 注

スキャナがビデオインタフェースまたはTPインタ  
フェースを介して制御されていない場合は、「スキャ  
ニング パラメータ」画面は表示されず、「ヨウシ  
ナガサチェック」画面が最初に表示されます。

2. メニュー画面の下の行に「RS232C ツウシン ソク  
ド」と表示されるまで、を繰り返し押します。
3. **ENTER**を押します。  
現在の設定4800が点滅して、選択画面が表示されます  
（点滅は「変更可能」なことを示します）。
4. またはを押します。  
表示が変わります（19200、2400、4800）。
5. 設定したい速度が表示されたら、**ENTER**を押して  
変更を保存します。  
LCDが<<SETUPMODE>>メニュー画面（RS232C ツウシ  
ン ソクド）に戻ります。
6. <<SETUPMODE>>を終了するには、電源を切断します。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
スキャンング パラメータ

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサチェック

<<SETUP MODE>>  
RS232C ツウシン ソクド

RS232C ツウシン ソクド  
4800

RS232C ツウシン ソクド  
19200

<<SETUP MODE>>  
RS232C ツウシン ソクド

## ■ SCSI ID

本機能は、SCSIインタフェースのID番号を設定します。



注

ドウサカノウ状態のときに **MENU** を押してセットアップモードを立ち上げた場合には、本機能を使用することはできません。

LCD表示	設定内容	備考
SCSI ID	0~7 (工場出荷状態: 5)	

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUPMODE>>初期画面で、**ENTER** を押します。  
<<SETUPMODE>>メニュー画面 (スキャニング パラメータまたはヨウシ ナガサチェック) が表示されず。



注

スキャナがビデオインタフェースまたはTPインタフェースを介して制御されていない場合は、「スキャニング パラメータ」画面は表示されず、「ヨウシ ナガサチェック」画面が最初に表示されます。

2. メニュー画面の下の行に「SCSI ID」と表示されるまで、 を繰り返し押します。

3. **ENTER** を押します。  
現在の設定5が点滅して、選択画面が表示されます (点滅は「変更可能」なことを示します)。

4.  または  を押します。  
数値表示が変わります (6、7、0、1、2、3、4)。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
スキャニング パラメータ

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサチェック

<<SETUP MODE>>  
SCSI ID

SCSI ID  
5

SCSI ID  
3

5. 設定したい数値が表示されたら、**ENTER** を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUPMODE>>メニュー画面 (SCSIID) に戻ります。

<<SETUP MODE>>  
SCSI ID

6. <<SETUPMODE>>を終了するには、電源を切断します。

## ■ プロダクトID

本機能はスキャナのプロダクトIDを設定します。通常、この設定を変更する必要はありません。



ドウスカノウ状態のときに**MENU**を押してセットアップモードを立ち上げた場合には、本機能を使用することはできません。

LCD表示	設定内容	備 考
プロダクトID	M4099D、M3099G (工場出荷状態:M4099D)	本スキャナの型式番号

以下に、スキャナの製品IDを変更するときの操作例を示します。

1. <<SETUPMODE>>初期画面で、**ENTER** を押します。  
<<SETUPMODE>>メニュー画面 (スキャンング パラメータまたはヨウシ ナガサチェック) が表示されません。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
スキャンング パラメータ



スキャナがビデオインタフェースまたはTPインタフェースを介して制御されていない場合は、「スキャンング パラメータ」画面は表示されず、「ヨウシ ナガサチェック」画面が最初に表示されます。

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサチェック

2. メニュー画面の下の行に「プロダクトID」と表示されるまで、を繰り返し押します。

<<SETUP MODE>>  
プロダクトID

3. **ENTER**を押します。  
現在の設定M4099Dが点滅している画面が表示されます（点滅は「変更可能」なことを示します）。

プロダクトID  
M4099D

4. またはを押します。  
表示が変わります（M3099Gが点滅）。

プロダクトID  
M3099G

5. **ENTER**を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUPMODE>>メニュー画面（プロダクトID）に戻ります。

<<SETUP MODE>>  
プロダクトID

6. **CANCEL**を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。

ドウサカノウ

## ■ プレピック

本機能は、用紙のプレピックを有効にしたり、無効にしたりします。

LCD表示	設定内容	備考
プレピック	オン、オフ（工場出荷状態：オン）	

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUPMODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUPMODE>>メニュー画面（スキャニング パラメータまたはヨウシ ナガサチェック）が表示されず。

 注

スキャナがビデオインタフェースまたはTPインタフェースを介して制御されていない場合は、「スキャニング パラメータ」画面は表示されず、「ヨウシ ナガサチェック」画面が最初に表示されます。

2. メニュー画面の下の行に「プレピック」と表示されるまで、を繰り返し押します。

3. **ENTER**を押します。  
現在の設定ONが点滅して、選択画面が表示されます（点滅は「変更可能」なことを示します）。

4. またはを押します。  
表示が変わります（OFFが点滅）。

5. **ENTER**を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUPMODE>>メニュー画面（プレピック）に戻ります。

6. **CANCEL**を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
スキャニング パラメータ

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサチェック

<<SETUP MODE>>  
プレピック

プレピック  
ON

プレピック  
OFF

<<SETUP MODE>>  
プレピック

ドウサカノウ

## ■ ピック開始時間

本機能は、用紙をホッパに手挿入してからピック動作が開始するまでの時間を設定します。

LCD表示	設定内容	備考
ピック カイシジカン	00.2 S ~ 29.8 S (工場出荷状態: 01.0 S)	0.2秒単位

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUPMODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUPMODE>>メニュー画面(スキャンング パラメータまたはヨウシ ナガサチェック)が表示されません。

### 注

スキャナがビデオインタフェースまたはTPインタフェースを介して制御されていない場合は、「スキャンング パラメータ」画面は表示されず、「ヨウシ ナガサチェック」画面が最初に表示されます。

2. メニュー画面の下の行に「ピック カイシジカン」と表示されるまで、を繰り返し押します。
3. **ENTER**を押します。  
現在の設定01.0 Sが点滅して、選択画面が表示されます(点滅は「変更可能」なことを示します)。
4. またはを押します。  
数値表示が変わります(00.2 S ~ 29.8 S)。値は0.2秒単位に変わります。
5. 設定したい数値が表示されたら、**ENTER**を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUPMODE>>メニュー画面(ピック カイシジカン)に戻ります。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
スキャンング パラメータ

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサチェック

<<SETUP MODE>>  
ピック カイシジカン

ピック カイシジカン  
01.0 S

ピック カイシジカン  
05.0 S

<<SETUP MODE>>  
ピック カイシジカン

6. **CANCEL** を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。

ドウサカノウ

## ■ 手挿入タイムアウト

本機能は、ホストコンピュータが読取コマンドを発進してから用紙をホッパに手挿入するまでの待機時間をセットします。用紙をホッパに挿入しないうちにこの時間が経過すると、手挿入タイムアウトエラーが発生します。

LCD表示	設定内容	備考
テソウニュー タイムアウト	1 S ~ 255 S (工場出荷状態: 30 S)	単位: 秒

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUPMODE>>初期画面で、**ENTER** を押します。  
<<SETUPMODE>>メニュー画面(スキャニング パラメータまたはヨウシ ナガサチェック)が表示されま  
す。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
スキャニング パラメータ

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサチェック

### 注

スキャナがビデオインタフェースまたはTPインタフェースを介して制御されていない場合は、「スキャニング パラメータ」画面は表示されず、「ヨウシ ナガサチェック」画面が最初に表示されます。

2. メニュー画面の下の行に「テソウニュー タイムアウト」と表示されるまで、 を繰り返し押します。
3. **ENTER** を押します。  
現在の設定30 Sが点滅している待機時間選択画面が表示されます(点滅は「変更可能」なことを示します)。

<<SETUP MODE>>  
テソウニュー タイムアウト

テソウニュー タイムアウト  
30 S

4. ▼または▲を押します。  
 数値表示が変わります（1 S～254 S）。値は秒単位で  
 変わります。

テソウニュー タイムアウト  
 10 S

5. 必要な数値が表示されたら、**ENTER**を押して変更  
 を保存します。  
 LCDが<<SETUPMODE>>メニュー画面（テソウニュー  
 タイムアウト）に戻ります。

<<SETUP MODE>>  
 テソウニュー タイムアウト

6. **CANCEL**を2回押します。  
 LCDがドウサカノウ画面に戻ります。

ドウサカノウ

## ■ 用紙ピック再試行

本機能は、ピックモータ動作時間と再試行回数を設定します。

LCD表示	設定内容	備 考
ピックリトライ	ステップ: 1～7（工場出荷状態: 2） カイスウ: 1～7（工場出荷状態: 4）	1～7: 標準ステップの1～7倍 1～7: 再試行1～7回

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUPMODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUPMODE>>メニュー画面（スキャニング パラメータまたはヨウシ ナガサチェック）が表示されず。

 注

スキャナがビデオインタフェースまたはTPインタフェースを介して制御されていない場合は、「スキャニング パラメータ」画面は表示されず、「ヨウシ ナガサチェック」画面が最初に表示されます。

2. メニュー画面の下の方に「ピックリトライ」と表示されるまで、を繰り返し押します。

3. **ENTER**を押します。  
現在の設定2（ステップ用）が点滅して、選択画面が表示されます（点滅は「変更可能」なことを示します）。

4. を押します。  
現在の回数設定4が点滅します。

5. またはを押します。  
表示が変わります（1、2、3、4、5、6、7）。

6. 設定したい数値が表示されたら、**ENTER**を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUPMODE>>メニュー画面（ピックリトライ）に戻ります。

7. **CANCEL**を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
スキャニング パラメータ

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサチェック

<<SETUP MODE>>  
ピックリトライ

ピックリトライ  
ステップ: 2 カイスウ: 4

ピックリトライ  
ステップ: 2 カイスウ: 4

ピックリトライ  
ステップ: 2 カイスウ: 7

<<SETUP MODE>>  
ピックリトライ

ドウサカノウ

## ■ 搬送再試行

本機能は、給紙モータ動作時間と再試行回数を設定します。

LCD表示	設定内容	備考
ハンソウリトライ	ステップ: 1~7 (工場出荷状態: 1)	1~7: 標準ステップの1~7倍
	カイスウ: 1~7 (工場出荷状態: 4)	1~7: 再試行1~7回

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUPMODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUPMODE>>メニュー画面 (スキャニング パラメータまたはヨウシ ナガサチェック) が表示されず。



注

スキャナがビデオインタフェースまたはTPインタフェースを介して制御されていない場合は、「スキャニング パラメータ」画面は表示されず、「ヨウシ ナガサチェック」画面が最初に表示されます。

2. メニュー画面の下の行に「ハンソウリトライ」と表示されるまで、を繰り返し押します。

3. **ENTER**を押します。  
現在の設定1 (ステップ用) が点滅しているオプション選択画面が表示されます (点滅は「変更可能」なことを示します)。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
スキャニング パラメータ

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサチェック

<<SETUP MODE>>  
ハンソウリトライ

ハンソウリトライ  
ステップ: 1    カイスウ: 4

4. を押します。  
現在の回数設定4が点滅します。
5. またはを押します。  
表示が変わります(1、2、3、4、5、6、7)。
6. 設定したい数値が表示されたら、**ENTER**を押して  
変更を保存します。  
LCDが<<SETUPMODE>>メニュー画面(ハンソウリトライ)  
に戻ります。
7. **CANCEL**を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。

ハンソウリトライ  
ステップ: 1    カイスウ: 4

ハンソウリトライ  
ステップ: 1    カイスウ: 7

<<SETUP MODE>>  
ハンソウリトライ

ドウサカノウ

## ■ ファンクションキー

本機能は、セットアップ機能を **F1** ボタン、**F2** ボタン、**F3** ボタンに割り当てます。最高三つのセットアップ機能を割り当てることができます。

### 注

- ・ドウサカノウ状態のときに **MENU** を押してセットアップモードを立ち上げた場合には、本機能を使用することはできません。
- ・以下の機能を割り当てることはできません。ホストインタフェース、TP\_IF通信速度、RS232C通信速度、SCSI ID、プロダクトID、セットアップ動作（ロック）、クロウラアテ ソウチャク、およびファンクションキー自身。

割り当て可能なセットアップ機能とその他の特殊機能	備 考
前述のセットアップ機能 STARTキー EJECTキー （工場出荷状態: 未定義）	START: EJECTで停止された動作を開始し、データをホストコンピュータに送信します。 EJECT: 動作を停止し、搬送ユニットの用紙を排出します。

**F1** ボタン、**F2** ボタン、**F3** ボタンはショートカットキーとして使用することができます。このショートカットキーは、スキャナがドウサカノウ状態でボタンを押すだけで、割り当て機能を簡単に呼び出すことができます。セットアップモードがロック状態（次の機能を参照）でもこの機能は有効です。しかし、**F1** ボタン、**F2** ボタン、**F3** ボタンは、セットアップモード、ブラウザモードおよびテストモードでは無効です。

以下に、STARTキーとEJECTキーを **F1** ボタン、**F2** ボタンにそれぞれ割り当てるときの操作例を示します。

1. <<SETUPMODE>>初期画面で、**ENTER** を押します。  
 <<SETUPMODE>>メニュー画面（スキャニング パラメータまたはヨウシ ナガサチェック）が表示されません。

### 注

スキャナがビデオインタフェースまたはTPインタフェースを介して制御されていない場合は、「スキャニング パラメータ」画面は表示されず、「ヨウシ ナガサチェック」画面が最初に表示されます。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
スキャニング パラメータ

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサチェック

2. メニュー画面の下の行に「ファンクションキー」と表示されるまで、を繰り返し押します。

<<SETUP MODE>>  
ファンクションキー

3. **ENTER**を押します。  
F1が点滅しているファンクションキー選択画面が表示されます(点滅は「変更可能」なことを示します)。

ファンクションキー  
F1 F2 F3

4. **ENTER**を押します。  
ミテイギが点滅しているF1選択画面が表示されます(点滅は「変更可能」なことを示します)。

F1キーワリアテ  
ミテイギ

5. またはを押します。  
下の行にセットアップ機能、START key、EJECT keyが表示されます。

F1キーワリアテ  
START key

6. STARTキーが表示されたら、**ENTER**を押します。  
LCDはF1が点滅しているファンクションキー選択画面に戻ります。

ファンクションキー  
F1 F2 F3

7. を2回押します。  
F3が点滅します。

ファンクションキー  
F1 F2 F3

8. **ENTER**を押します。  
ミテイギが点滅しているF3選択画面が表示されます(点滅は「変更可能」なことを示します)。

F3キーワリアテ  
ミテイギ

9. またはを押します。  
下の行にセットアップ機能、START key、EJECT keyが表示されます。

F3キーワリアテ  
EJECT key

10. STOP keyが表示されたら、**ENTER**を押して変更を保存します。  
LCDはF3が点滅しているファンクションキー選択画面に戻ります。

ファンクションキー  
F1 F2 F3

11. <<SETUPMODE>>を終了するには、電源を切断します。

## ■ セットアップモードロック

本機能は、操作パネルの誤動作を防ぐためにノーマルモードからセットアップモードへ入ることを禁止します。いったん操作パネルをロックすると、**F1** ボタン、**F2** ボタン、**F3** ボタンに割り当てられた項目以外のセットアップ項目を使用することはできなくなります。



ドウサカノウ状態のときに**MENU**を押してセットアップモードを立ち上げた場合には、本機能を使用することはできません。

LCD表示	設定内容	備考
セットアップ ドウサ	オン、オフ（工場出荷状態: オフ）	

セットアップモードのロック状態をキャンセルするには、電源を切断し、**MENU** ボタンを押しながら電源を投入してセットアップモードに入ります。セットアップモードで、セットアップモードロック機能を選択し、OFFに設定します。

以下に、操作パネルをロックするときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER** を押します。  
<<SETUPMODE>>メニュー画面（スキャニング パラメータまたはヨウシ ナガサチェック）が表示されず。



スキャナがビデオインタフェースまたはTPインタフェースを介して制御されていない場合は、「スキャニング パラメータ」画面は表示されず、「ヨウシ ナガサチェック」画面が最初に表示されます。

2. メニュー画面の下の行に「セットアップ ドウサ」と表示されるまで、を繰り返し押します。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
スキャニング パラメータ

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサチェック

<<SETUP MODE>>  
セットアップ ドウサ

3. **ENTER** を押します。  
現在の設定OFFが点滅しているオプション選択画面が表示されます（点滅は「変更可能」なことを示します）。
4.  または  を押します。  
表示が変わります（ONが点滅）。
5. **ENTER** を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面（セットアップ ドウサ）に戻ります。
6. <<SETUP MODE>>を終了するには、電源を切断します。



## ■ 黒裏当て装着

本機能は、スキャナに「黒裏当て」を装着した場合に有効（ON）に設定します。  
黒裏当てを装着後、本機能を有効にし、テストモード「AGチョウセイ」にてアンブゲインを設定します。

注意（画像品質）

黒裏当てを装着しない状態で本機能を有効にしますと画像品質が低下する恐れがあります。



ドウサカノウ状態のときに**MENU**を押してセットアップモードを立ち上げた場合には、本機能を使用することはできません。

LCD表示	設定内容	備考
クロウラアテ ソウチャク	オモテメン: ON、OFF（工場出荷状態: OFF） ウラメン: ON、OFF（工場出荷状態: OFF）	

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUPMODE>>メニュー画面（スキャニング パラメータまたはヨウシ ナガサチェック）が表示されず。

 注

スキャナがビデオインタフェースまたはTPインタフェースを介して制御されていない場合は、「スキャニング パラメータ」画面は表示されず、「ヨウシ ナガサチェック」画面が最初に表示されます。

2. メニュー画面の下の行に「クロウラアテ ソウチャク」と表示されるまで、を繰り返し押します。
3. **ENTER**を押します。  
OFFが点滅している画面が表示されます（点滅は「変更可能」なことを示します）。
4. またはを押します。  
表示が変わります（ONが点滅）。
5. を押します。  
OFFが点滅している画面が表示されます（点滅は「変更可能」なことを示します）。
6. またはを押します。  
表示が変わります（ONが点滅）。
7. **ENTER**を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面（クロウラアテ ソウチャク）に戻ります。
6. <<SETUP MODE>>を終了するには、電源を切断します。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
スキャニング パラメータ

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサチェック

<<SETUP MODE>>  
クロウラアテ ソウチャク

クロウラアテ ソウチャク  
オモテメン: OFF ウラメン: OFF

クロウラアテ ソウチャク  
オモテメン: ON ウラメン: OFF

クロウラアテ ソウチャク  
オモテメン: ON ウラメン: OFF

クロウラアテ ソウチャク  
オモテメン: ON ウラメン: ON

<<SETUP MODE>>  
クロウラアテ ソウチャク

## ■ LCD表示言語切替え

本機能は、LCD表示言語を英語または日本語に設定します。

LCD表示	設定内容	備考
Language	English、カタカナ（工場出荷状態: カタカナ）	

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUP MODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<SETUPMODE>>メニュー画面（スキャニング パラメータまたはヨウシ ナガサチェック）が表示されます。



注

スキャナがビデオインタフェースまたはTPインタフェースを介して制御されていない場合は、「スキャニング パラメータ」画面は表示されず、「ヨウシ ナガサチェック」画面が最初に表示されます。

2. メニュー画面の下の行に「Language」と表示されるまで、を繰り返し押します。
3. **ENTER**を押します。  
カタカナが点滅している画面が表示されます（点滅は「変更可能」なことを示します）。
4. またはを押します。  
表示が変わります（Englishが点滅）。
5. **ENTER**を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面（Language）に戻ります。
6. **CANCEL**を2回押します。  
LCDがドウサカノウ画面に戻ります。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
スキャニング パラメータ

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサチェック

<<SETUP MODE>>  
Language

Language  
カタカナ

Language  
English

<<SETUP MODE>>  
Language

ドウサカノウ

## ■ 白追従モード

本機能は、原稿を読取るときの白基準取込み方法を設定します。  
原稿の下地全体に色が付いている場合に「1」を設定すると、原稿の先端を白基準として取込むため、スキャナで読み取った下地色は白となります。



注

- ・ 「1」を設定する場合、原稿の先端から3 mmは同一色である必要があります。
- ・ ドウサカノウ状態のときに **MENU** を押してセットアップモードを立ち上げた場合には、本機能を使用することはできません。

LCD表示	設定内容	備 考
シロツイジユウ モード	1、0 (工場出荷状態：0)	0：スキャナ内部の白基準板を白基準とします。 1：原稿の先端を白基準とします。

以下に、この機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<SETUPMODE>>初期画面で、**ENTER** を押します。  
<<SETUPMODE>>メニュー画面 (スキャニング パラメータまたはヨウシ ナガサチェック) が表示されま  
す。



注

スキャナがビデオインタフェースまたはTPインタフェースを介して制御されていない場合は、「スキャニング パラメータ」画面は表示されず、「ヨウシ ナガサチェック」画面が最初に表示されます。

<<SETUP MODE>>

<<SETUP MODE>>  
スキャニング パラメータ

<<SETUP MODE>>  
ヨウシ ナガサチェック

- メニュー画面の下の行に「シロツイジユウ モード」と表示されるまで、を繰り返し押します。
- ENTER**を押します。  
0 が点滅している画面が表示されます（点滅は「変更可能」なことを示します）。
- または を押します。  
表示が変わります（1 が点滅）。
- ENTER**を押して変更を保存します。  
LCDが<<SETUP MODE>>メニュー画面（シロツイジユウ モード）に戻ります。
- <<SETUP MODE>>を終了するには、電源を切断します。

<<SETUP MODE>>  
シロツイジユウ モード

シロツイジユウ モード  
0

シロツイジユウ モード  
1

<<SETUP MODE>>  
シロツイジユウ モード

# テストモードの起動

テストモードを起動するには、以下の手順に従います。

1. **MENU** を押しながら電源を投入します。  
LCDに「シバラクオマチクダサイ」と表示され、次に、「SETUP」が点滅している<<MODESELECT>>画面が表示されます。
2.  を2回押します。  
「TSET」が点滅します（点滅は「選択可能」なことを示します）。
3. **ENTER** を押します。  
<<TSET MODE>>初期画面（\*）が表示されます。
4. **ENTER** を押します。  
<<TSET MODE>>メニュー画面（\*\*）が表示されません。

テストモードを終了するには、電源を切断します。

T シバラクオマチクダサイ

<<MODE SELECT>>  
SETUP BROWSE TEST

<<MODE SELECT>>  
SETUP BROWSE TEST

\* <<TEST MODE>> 初期画面

<<TEST MODE>>

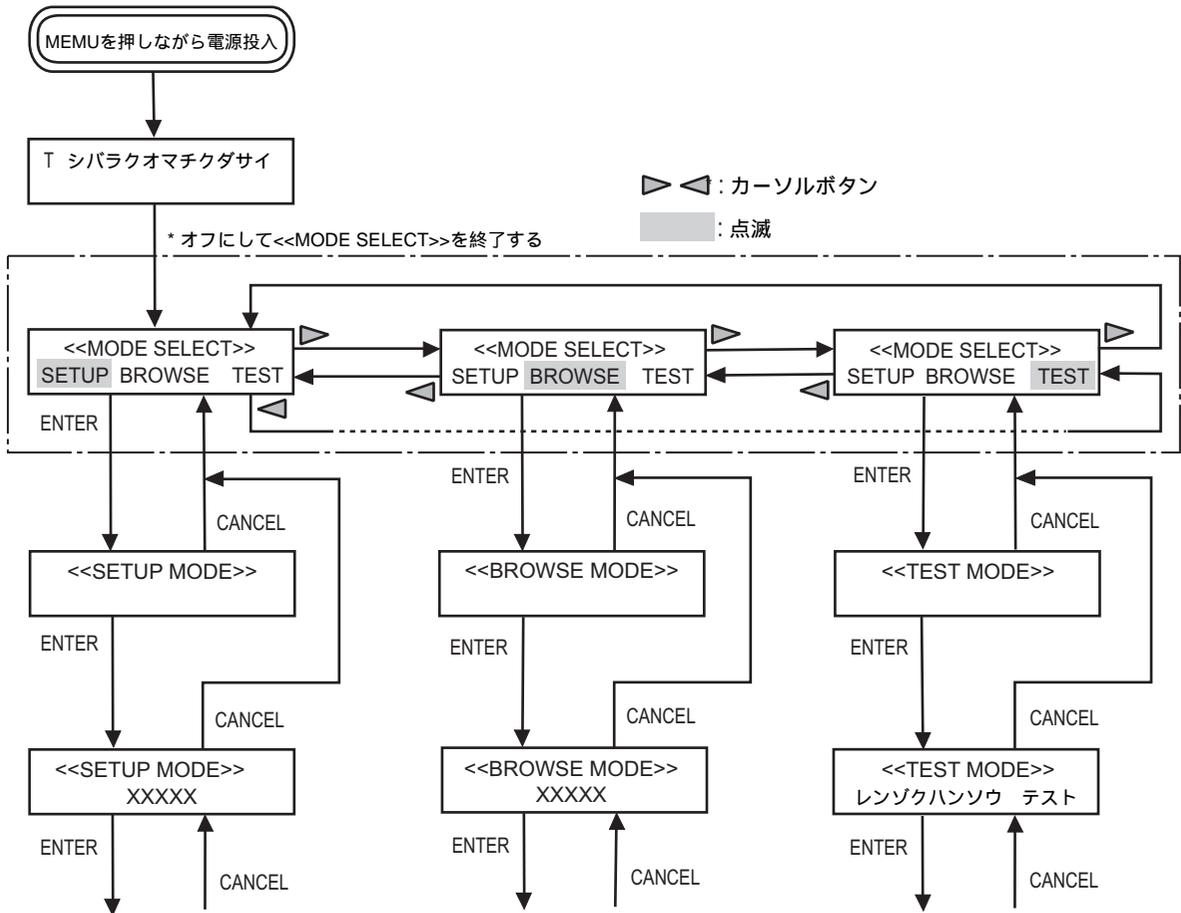
\*\* <<TEST MODE>> メニュー画面

<<TEST MODE>>  
レンゾクハンソウテスト

## ■ テストモードのボタン機能

ボタン名	機能
<b>MENU</b>	<<TEST MODE>>メニュー画面に戻ります。
<b>ENTER</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テストを実行します。</li> <li>・前の画面に戻ります。</li> <li>・下位レベルがある場合には、次の下位レベルの画面を表示します。</li> </ul>
<b>CANCEL</b>	変更を保存せずに前の画面に戻ります。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メニューの右側の機能を表示します。</li> <li>・右側の項目に移動します。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メニューの左側の機能を表示します。</li> <li>・左側の項目に移動します。</li> </ul>
	数値などの表示を下にスクロールします。
	数値などの表示を上スクロールします。

## ■ モード選択 (MENUを押しながら電源投入)



# テストモードの内容

テストモードには、以下の表に示すユーザテスト機能があります。この節では、お客様に必要な「レンゾクハンソウ テスト」と「オプション ヒョウジ」と「ルイケイ ヒョウジ」について説明します。



注

「レンゾクハンソウ テスト」、「オプション ヒョウジ」、「ルイケイ ヒョウジ」以外のユーザテスト機能を使用する必要がある場合、代理店にお問合せください。

ユーザテスト機能は以下のとおりです。

テスト項目	説明
レンゾクハンソウテスト	用紙搬送状態を確認するために用紙を連続的に読み取ります。
オプション ヒョウジ	装置に実装されているオプションを表示します。
ルイケイ ヒョウジ	スキャナ設置後の給紙累計枚数とランプ点灯累計時間数を表示します。
センサジドウチョウセイ	センサを自動調整します。
オフセットチョウセイ	調整用紙を使用してオフセットを調整します。
ソウサパネルテスト	操作パネルをチェックするためのLCD、LED、ボタンのテスト機能です。
ROM ハンスウ	プログラムROMの版数を表示します。
センサジョウタイ ヒョウジ	センサの状態を表示します。
センサ チョウセイ	センサの電流とスライスレベルを変更し、センサを調整します。
+5Vデンアツチェック	+5Vの電圧を表示します。
EEPROM エディット	EEPROM (アドレス00 ~ 127) に任意データを書き込み、設定値を確認または変更します。
イメージメモリ ヨウリョウヒョウジ	イメージメモリの容量を表示します。
AGチョウセイ	黒裏当てを装着した時にアンブゲイン (AG) を調整します。

## ■ 連続搬送テスト

本機能は、ホストコンピュータなしで機構の動作全体をチェックするために用紙を連続的に読み取ります。セットアップモードの設定機能を使用して、原稿を読み取るための読取パラメータ（読取モード、用紙サイズ/方向、濃度、解像度、中間調処理）を変更することができます。

LCD表示	テスト項目	備考
レンゾクハンソウテスト	STARTおよびSETUP	START: テストを開始する。 SETUP: 読取パラメータの設定を変更する。

\* SETUP操作については、この章で既に述べたセットアップモードの「スキャニングパラメータ」を参照してください。

以下に、スキャニングパラメータの設定後に連続搬送テストを開始するときの操作例を示します。

1. 用紙をホッパテーブルに置きます。

<<TEST MODE>>

2. <<TEST MODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<TEST MODE>>メニュー画面（レンゾクハンソウテスト）が表示されます。

<<TEST MODE>>  
レンゾクハンソウ テスト

3. 再び**ENTER**を押します。  
STARTが点滅している現在の読取パラメータリスト画面が表示されます（点滅は「選択可能」なことを示します）。

S A4タテ AT2 200 LA  
START SETUP

4. を押します。  
SETUPが点滅します（点滅は「選択可能」なことを示します）。

S A4タテ AT2 200 LA  
START SETUP

5. **ENTER**を押します。  
LCDがS（片面モード）が点滅している画面に変わります（点滅は「選択可能」なことを示します）。

S A4タテ AT2 200 LA  
AT2 LA

6. を押します。  
A4タテ（ポートレート方向でA4サイズ）が点滅します（点滅は「選択可能」なことを示します）。

S A4タテ AT2 200 LA  
AT2 LA

7. **ENTER** を押します。  
A4タテが点滅しているPAPER SIZE画面が表示されます（点滅は「選択可能」なことを示します）。
8.  または  を押します。  
表示が変わります（レタータテ、B5タテ、A5タテ、A4ヨコなど）。
9. 必要なパラメータが表示されたら、**ENTER** を押し  
て変更を保存します。  
新しいパラメータが点滅している画面が表示されま  
す。
10. **CANCEL** を押します。  
新しいパラメータがSETUPで置き換わりSETUPが点滅し  
ている、現在の読取パラメータリスト画面が表示され  
ます（点滅は「選択可能」なことを示します）。
11.  を押します。  
STARTが点滅します（点滅は「選択可能」なことを  
示します）。
12. **ENTER** を押します。  
スキャナは、エラー（通常、「ホッパエンプティ」）  
を検出するまで原稿を連続的に繰り込んで読み取りま  
す。繰り込み中には、上の行には「レンゾクハンソウ  
チュウ！！」と表示され、下の行には繰り込み枚数が  
表示されます。
  - ・ テストを中断するには、**CANCEL** を押します。
  - ・ テストを再開するには、**ENTER** を押します。
  - ・ ホッパエンプティ状態から再開するには、用紙を  
ホッパテーブルに置き、**CANCEL** を押します。
  - ・ レンゾクハンソウテストを終了するには、中断状  
態で**CANCEL** を押します。
13. <<TEST MODE>>を終了するには、電源を切断しま  
す。

PAPER SIZE  
A4タテ

PAPER SIZE  
レタータテ

S LTタテ AT2 200 LA  
AT2 LA

S LTタテ AT2 200 LA  
START SETUP

S LTタテ AT2 200 LA  
START SETUP

レンゾクハンソウチュウ！！  
12345678 1234

## ■ オプション表示

本機能は、スキャナに搭載されているオプションを表示します。

LCD表示	表示内容	備考
オプション ヒョウジ	エンドーサ、IPC-3D	エンドーサ: 原稿裏面印字プリンタ。 IPC-3D: 画像処理機能(標準装備)。

\* オプションを搭載していると、オプションの下にアリが表示されます。オプションを搭載していないと、オプションの下にナシが表示されます。

以下に、本機能を使用するときの操作例を示します。

1. <<TEST MODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<TEST MODE>>メニュー画面(レンゾクハンソウテスト)が表示されます。

<<TEST MODE>>

<<TEST MODE>>  
レンゾクハンソウテスト

2. を押します。  
<<TEST MODE>>メニュー画面(オプション ヒョウジ)が表示されます。

<<TEST MODE>>  
オプション ヒョウジ

3. **ENTER**を押します。  
現在のオプションリスト画面が表示されます。搭載されているオプションをチェックすることができます。

エンドーサ      IPC-3D  
ナシ                アリ

4. <<TEST MODE>>を終了するには、電源を切断します。

## ■ 累計表示

本機能は、スキャナ設置後の用紙搬送累計枚数とランプ点灯累計時間数を表示します。

LCD表示	表示内容	備考
ルイケイ ヒョウジ	COUNT、LAMP F、LAMP B	COUNT: 給紙累計枚数。 LAMP F: 表面ランプの累計動作時間数。 LAMP B: 裏面ランプの累計動作時間数。

\* 各値の単位はLCDには表示されません。

以下に、累計をチェックするときの操作例を示します。

1. <<TEST MODE>>初期画面で、**ENTER**を押します。  
<<TEST MODE>>メニュー画面（レンゾクハンソウテスト）が表示されます。
2. を4回押します。  
<<TEST MODE>>メニュー画面（ルイケイ ヒョウジ）が表示されます。
3. **ENTER**を押します。  
現在の値表示画面が表示されます。累計をチェックすることができます。
4. <<TEST MODE>>を終了するには、電源を切断します。

<<TEST MODE>>

<<TEST MODE>>  
レンゾクハンソウ テスト

<<TEST MODE>>  
ルイケイ ヒョウジ

COUNT LAMP F: 1234567  
12345678 B: 1234567

# 索引

## あ行

- IPC-3の設定 6-14
- RS232C
  - インタフェース 2-7
  - 通信速度の設定 6-34
- 安全上の注意 iv
- 一時的なエラー 1-7
- インタフェース
  - ケーブルの接続 2-7
  - コネクタ 1-3
  - 設定(ホスト) 6-32
- 上搬送ユニット 1-3
- ADFレバー 1-3
- 絵記号の意味 iii
- 液晶のコントラスト設定 6-29
- EJECTキー 6-46
- SF2ゲンコウセンタンミケンシュツ 6-18
- F1, F2, F3ボタン 1-6, 3-8
- エラー
  - ステータス表示 1-7
  - 発生時の詳細表示 3-4
  - メッセージ 3-4
- LED 1-6
- LCD 1-6
  - 表示言語切替え 6-51
- LCD表示の遷移
  - 通常モードからのモード選択 3-9, 6-3
  - 電源投入時のモード選択 3-30, 6-55
  - セットアップモードでの 6-6
  - ステータスと表示の関係 3-31
- ENTERボタン 1-6, 6-2, 6-54
- OCR用紙 4-2
- オートマティックドキュメントフィーダ(ADF) 1-3
- オプション 5-4

- オプション表示(テストモード) 6-59
- オペレータガイド 1-1

## か行

- 外形寸法 5-1, 5-2
- ガイド板 1-3, 1-4
- カーソルボタン 1-6, 6-2, 6-54
- 環境条件 5-1
- CANCELボタン 1-6, 3-4, 3-6, 6-2, 6-54
- 組み立て部品 1-2
- 黒裏当て装着 6-49
- 警告事項 iv
- 警告・注意マーク ii
- ケーブル接続
  - インタフェース 2-7
  - 電源 2-6
- 原稿
  - サイズ 4-1
  - 紙質(種類、連量) 4-2
  - 制限 4-5
  - 地色領域 4-7
  - ドロップアウトカラー 4-8
  - 特殊用紙 4-9
- 構成品 1-4
  - チェック 1-1

## さ行

- サイドカバー 1-3
- 差分 6-9
- CD-ROM 1-1
- 事前のご注意 2-1, 3-1
- 下シートガイドASY 1-4
- 斜行チェック設定 6-13
- 重量 5-1
- 仕様 5-1
- 上質紙 4-2
- 小ストッパ 1-3

- 消費電力 5-1
- 消耗品 5-3
- 消耗品アラーム 3-6
  - クリア 3-6
  - 動作 6-25
- 消耗品カウンタ 6-22
  - リセット 6-23
- 白追従モード 6-52
- SCSI
  - IDの設定 6-36
  - インタフェース 2-7
- スキャナ 1-1
- スキャニング
  - パラメータ 6-7
  - モード 6-7
- スタッカ 1-3
- スタッカエクステンション 1-3
- スタッカガイド 1-3
- STARTキー 6-46
- ステータス表示の遷移 3-31
- ストッパ 1-1, 1-3
- 製品を安全に使用していただくために i
- 設置仕様 5-1
- セットアップ項目
  - IPC-3モード 6-14
  - RS232C通信速度 6-34
  - LCDコントラスト 6-29
  - LCD表示言語切替え 6-51
  - 音量（ブザー） 6-28
  - 黒裏当て装着 6-49
  - 斜行チェック 6-13
  - 消耗品アラーム動作 6-25
  - 消耗品カウンタ 6-22
  - 消耗品カウンタリセット 6-23
  - 白追従モード 6-52
  - SCSI-ID 6-36
  - スキャニングパラメータ 6-7
  - セットアップモードロック 6-48
  - ダブルフィードチェック 6-10

- 手挿入タイムアウト 6-41
- TP\_IF通信速度 6-33
- ドロップアウトカラー 6-20
- ピック開始時間 6-40
- ピックスピード 6-30
- ピック再試行 6-42
- ファンクションキー 6-46
- ブザー 6-26
- プレピック 6-38
- プロダクトID 6-37
- ホストインタフェース 6-32
- ホッパ高さ 6-16
- 用紙厚み 6-11
- 用紙長さチェック 6-9
- 用紙搬送再試行 6-44
- 用紙分離力 6-18
- セットアップモード 6-1
  - 起動 6-2
  - 使い方 3-9
  - 内容 6-4
  - ロック 6-48
- 操作パネル 1-3, 1-5, 3-4
  - 基本操作 3-4
- 装置エラー 1-7
- 装置構成単位 1-2

## た行

- ダブルフィードチェック設定 6-10
- 注意事項 vi
- CHECK LED 1-6, 3-4
- 著作権に関するご注意 iii
- テスト項目
  - オプション表示 6-59
  - 累計表示 6-60
  - 連続搬送テスト 6-57
- テストモード 6-1
  - 起動 6-54
  - 使い方 3-9

内容 6-56  
手挿入タイムアウトの設定 6-41  
DATA LED 1-6  
TP\_IF通信速度 6-33  
電源  
    インレット 1-3  
    ケーブル/接続 1-1, 2-6  
    主スイッチ 1-3, 2-6, 3-3  
    スイッチ 1-3, 1-6, 3-3  
    投入 3-3  
動作状態表示 1-7  
ドロップアウトカラー選択 6-20

## な行

入力電源 5-1

## は行

配置 1-5  
はじめに ii  
パターン番号 6-15  
バッチカウンタ 3-7  
パッド 1-3, 1-4, 5-3  
ハーフトーン処理 6-7  
POWERLED 1-6  
搬送再試行設定 6-44  
ピック開始時間 6-40  
ピックスピードの設定 6-30  
ピックミス 6-18, 6-31  
ピック再試行設定 6-42  
ピックローラユニット 1-3, 1-4, 5-3  
ビデオインタフェース 2-7  
ファンクション  
    セットアップモードで 6-1  
    ブラウズモードで 6-1  
ファンクションキー 6-46  
ファンクションボタン 6-46  
    使い方 3-8

フィード方向 4-1  
ブザー 1-8, 6-26  
ブザーの音量の設定 6-28  
普通紙 4-2  
ブラウズモード 6-1  
    起動 6-2  
    使い方 3-9  
ブレーキローラ 1-3, 1-4, 5-3  
ブレーキの強さ 6-18  
プレピック設定 6-38  
プロダクトIDの設定 6-37  
分解能 6-7  
ボタン 1-6  
ボタンの機能  
    セットアップ/ブラウズモード 6-2  
    テストモード 6-54  
ホッパ 1-3  
ホッパエクステンション 1-3  
ホッパガイド 1-3  
ホッパ高さ  
    上げ下げ/調整 3-5  
    設定 6-16

## ま行

前もって注意すること 4-2  
密度 6-7  
MENUボタン 1-6, 3-9, 6-2, 6-54  
モード選択  
    (動作可能状態でMENUボタンを押したとき) 6-3  
    (MENUボタンを押しながら電源を入れたとき) 6-55

## や行

用紙

厚さ 4-2

カール 4-3

寸法 6-7

そり 4-3

方向 6-7

用紙厚み設定 6-11

用紙長さチェック設定 6-9

用紙分離力設定 6-18

読取パラメータ 6-16

## ら行

ラベル

A 2-4

B 2-5

C 2-5

ランプ 1-4, 5-3

ランプユニット 1-4

累計カウンタ 3-7

累計表示 6-60

レバー 1-3

連続搬送テスト 6-57

## 修理・お問い合わせについて

専門の技術員が定期的にお客様を訪問しスキャナを保守する『契約サービス』について弊社では、お客様に安心してイメージスキャナをご使用いただけるよう購入時にご加入いただく契約サービスをおすすめしております。契約サービスの詳しい内容につきましては、ご担当の販売員にお問合せください。

『契約サービス』をご購入なされなかった場合の修理・お問合せについて必要な時にその都度ご利用いただける「有償によるスポットサービス」によりお客様をサポートいたします。お客様のイメージスキャナに故障が発生しましたら下記窓口にお問合せください。

受付窓口：	株式会社P F U イメージングサービス&サポートセンター
電 話：	0 1 2 0 - 3 7 - 9 0 8 9
受付時間：	9：00～12：00、13：30～17：00 (土・日・祝祭日、年末年始、当社休業日を除く)
修理拠点：	〒920-0217 石川県金沢市近岡町376-1 株式会社P F U 金沢クーリエセンター (電話：076-239-1584)
ホームページ：	<a href="http://imagescanner@fujitsu.com/jp/">http://imagescanner@fujitsu.com/jp/</a>

FUJITSU